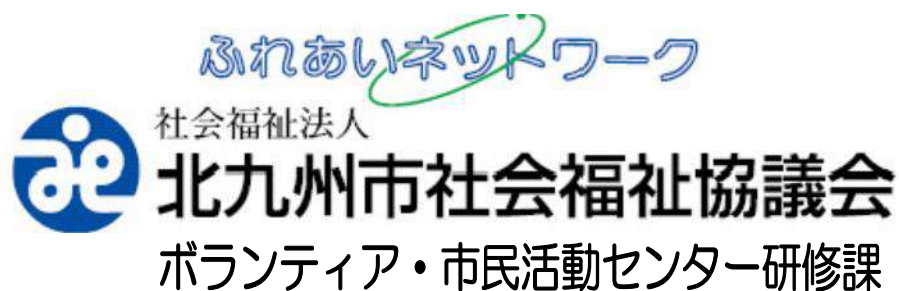


平成29年度
北九州市社会福祉ボランティア大学校

事業報告書



目次

1	事業の総括	1
2	研修実施状況一覧	2～5
3	研修実施内容	
	(1) 新たなボランティア・市民活動の担い手の養成	
	○ まちづくりセミナー	6～7
	○ ふくしのまちづくり講座	8～29
	(2) テーマ型ボランティア・市民活動者の育成	
	① 入門者	
	○ 福祉有償運送運転協力者研修	30～41
	○ 傾聴ボランティア養成講座	42～43
	○ 私にもできる災害ボランティア入門講座	44～45
	② 活動者	
	○ 送迎ボランティア・フォローアップ研修 (実技)	46～47
	○ 送迎ボランティア・フォローアップ研修 (座学)	48～49
	○ 傾聴ボランティア・フォローアップ研修	50～51
	○ 災害ボランティア・フォローアップ研修	52～53
	③ リーダー	
	○ ボランティア・リーダー研修	54～57
	(3) 地縁型ボランティアの育成	
	① 新任者	
	○ 新任福祉協力員等研修	58～71
	② 現任者	
	○ 現任福祉協力員研修	72～85
	○ 地域福祉活動専門研修	86～87
	③ 役員	
	○ 地域福祉活動指導者研修「トップセミナー」	88～89
	○ 校(地)区社協新任役員研修	90～91
	○ まちづくりゼミナール	92～93
	(4) 企業におけるボランティア・市民活動者の養成	
	○ 企業の社会貢献活動セミナー	94～95
	○ 社会福祉法人の社会貢献活動セミナー	96～97
	(5) ボランティア・市民活動支援者の育成	
	○ ボランティア・コーディネーター研修	98～99
	(6) その他 (福岡県との共同事業) ※臨時開催	
	○ 災害ボランティア講座	100～101

1 事業の総括

北九州市社会福祉ボランティア大学校では、「北九州市地域福祉計画」や「北九州市地域福祉活動第五次計画～住民ふくしの元気プラン～」を効果的に推進させるため、民生委員・児童委員協議会や社会福祉施設等と連携しながら、高齢者、生活困窮者、認知症のある人、引きこもり等の課題を抱えた人たちを支援するために、地域コミュニティに福祉の視点で取り組む人材の養成・育成を目指し、研修の充実を図りました。

今年度より拡大し、重点的に取り組んだ「ふくしのまちづくり講座」では、各校(地)地区主導の基に地域の人材発掘や地域の課題発見、解決を進めていき、地域住民による「地域単位での生活支援力」を高めていきました。

昨年度に引き続き、重点的に取り組んだ「社会福祉法人の社会貢献活動セミナー」では、法人の社会貢献担当者等に社会福祉法人が地域の一員として貢献活動をすることの意義・重要性等を学ぶ中で、法人制度改革に対応した熱意・決意を感じさせる研修を実施することができました。

さらに、今年度より「企業の社会貢献活動セミナー」を単独で開催し、地域の一員としての企業のあり方や必要性を示すために、実際に取り組む実践報告やグループワークを基に企業の社会貢献活動に対する意識向上に務めました。

また、頻発する自然災害により、市民の防災に対する関心が高まるなか実施した「災害ボランティア・フォローアップ研修」では、平成29年7月九州北部豪雨の際に設置した朝倉市災害ボランティアセンター等の組織についての講義やボランティアセンターの各班の役割について学ぶことで災害時に備えた体制づくりを視野に、研修を実施しました。

研修全般では、本会の基本理念である「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」の実現に向け、ボランティア活動の推進や地域福祉の向上に務めながら、関係機関・団体との連携のもと、延べ2,900人に研修を実施することができました。

2 研修実施状況一覧

(1) 新たなボランティア・市民活動の担い手の養成

- まちづくりセミナー 詳細 No.1
- ふくしのまちづくり講座 詳細 No.2～12

研修名	受講者	開催回数	開催日数/回	延開催日数	延参加人数	開催月
まちづくりセミナー	市民	1	5	5	163	5～7
ふくしのまちづくり講座	校区住民	11 ※12校(地区)	3～4	34	1,045	7～3
計		12	—	39	1,208	—

(2) テーマ型ボランティア・市民活動者の育成

① 入門者

- 福祉有償運送運転協力者研修 詳細 No.13～18
- 傾聴ボランティア養成講座 詳細 No.19
- 私にもできる災害ボランティア入門講座 詳細 No.20

② 活動者

- 送迎ボランティア・フォローアップ研修 (実技) 詳細 No.21
- 送迎ボランティア・フォローアップ研修 (座学) 詳細 No.22
- 傾聴ボランティア・フォローアップ研修 詳細 No.23
- 災害ボランティア・フォローアップ研修 詳細 No.24

③ リーダー

- ボランティア・リーダー研修 詳細 No.25～26

研修名		受講者	開催回数	開催日数/回	延開催日数	延参加人数	開催月
入門者	福祉有償運送 運転協力者研修	福祉有償運送実施 団体に運転協力者を 希望する者	3	2	6	61	6～3
	傾聴ボランティア 養成講座	市民	1	2	2	70	8
	私にもできる災害 ボランティア入門講座	市民	1	1	1	33	8
活動者	送迎ボランティア・ フォローアップ研修 (実技)	送迎ボランティア	1	1	1	19	10
	送迎ボランティア・ フォローアップ研修 (座学)	送迎ボランティア	2	1	2	58	9～10
	傾聴ボランティア・ フォローアップ研修	傾聴ボランティア	1	1	1	38	5
	災害ボランティア・ フォローアップ研修	災害ボランティア 入門講座受講者等	1	1	1	26	9
リーダー	ボランティア・ リーダー研修	リーダー 次期リーダー	2	1	2	35	10
計			12	—	16	340	—

(3) 地縁型ボランティアの育成

① 新任者

- 新任福祉協力員等研修 詳細 No.27～33

② 現任者

- 現任福祉協力員研修 詳細 No.34～40
- 地域福祉活動専門研修 詳細 No.41

③ 役員

- 地域福祉活動指導者研修「トップセミナー」 詳細 No.42
- 校(地)区社会福祉協議会 新任役員研修 詳細 No.43
- まちづくりゼミナール 詳細 No.44

研修名		受講者	開催回数	開催日数/回	延開催日数	延参加人数	開催月
新任者	新任福祉協力員等研修	新任福祉協力員等	8	1	8	407	6～8
現任者	現任福祉協力員研修	現任福祉協力員等	7	1	7	357	9～12
	地域福祉活動専門研修	校(地)区社会福祉協議会の実務者	1	1	1	118	12
役員	地域福祉活動指導者研修「トップセミナー」	校(地)区社会福祉協議会役員	1	1	1	175	2
	校(地)区社会福祉協議会 新任役員研修	校(地)区社会福祉協議会新任役員	1	1	1	79	6
	まちづくりゼミナール	校(地)区社会福祉協議会・まちづくり協議会役員、民生委員等	1	3	3	49	9～11
計			19	—	21	1,185	—

(4) 企業におけるボランティア・市民活動者の養成

- 企業の社会貢献活動セミナー 詳細 No.45
- 社会福祉法人の社会貢献活動セミナー 詳細 No.46

研修名	受講者	開催回数	開催日数/回	延開催日数	延参加人数	開催月
企業の社会貢献活動セミナー	企業の社会貢献活動担当者等	1	1	1	25	3
社会福祉法人の社会貢献活動セミナー	社会福祉法人の社会貢献活動担当者等	1	1	1	44	3
計		2	—	2	69	

(5) ボランティア・市民活動支援者の育成

- ボランティア・コーディネーター研修 詳細 No.47

研修名	受講者	開催回数	開催日数/回	延開催日数	延参加人数	開催月
ボランティア・コーディネーター研修	施設・団体等でボランティアコーディネーションに関わる職員	1	1	1	32	6

(6) その他(福岡県との共同事業) ※臨時開催

○ 災害ボランティア講座

詳細 No.48

研修名	受講者	開催回数	開催日数/回	延開催日数	延参加人数	開催月
災害ボランティア講座	市民	1	1	1	66	8

3 資料作成

資料名	発行部数	発行日
「ひと&ひと」 (『きたきゅうしゅう市社協だより』掲載)	172,000部	平成29年5月1日・8月1日 11月1日・平成30年1月15日
パンフレット 「やさしさの広がるまちづくり」	4,500部	平成29年6月1日
平成28年度事業報告書	HP掲載	平成29年6月1日

4 過年度の参加者推移

(1) 新たなボランティア・市民活動の担い手の養成

年度	開催回数(回)	延べ開催日数(日)	参加実人数(人)
平成25年度	8	26	1,097
平成26年度	8	26	1,078
平成27年度	8	26	998
平成28年度	8	26	886
平成29年度	12	39	1,208

(2) テーマ型ボランティア・市民活動者の人材育成

年度	開催回数(回)	延べ開催日数(日)	参加実人数(人)
平成25年度	10	17	352
平成26年度	9	14	305
平成27年度	9	14	306
平成28年度	9	14	263
平成29年度	12	16	340

(3) 小地域福祉活動者（地縁型ボランティア）の人材育成

年 度	開催回数（回）	延べ開催日数（日）	参加実人数（人）
平成 25 年度	27	31	1,729
平成 26 年度	19	23	1,754
平成 27 年度	19	23	1,953
平成 28 年度	19	23	1,217
平成 29 年度	19	21	1,185

(4) 企業におけるボランティア・市民活動者の人材育成

年 度	開催回数（回）	延べ開催日数（日）	参加実人数（人）
平成 25 年度	4	4	134
平成 26 年度	1	1	18
平成 27 年度	1	1	30
平成 28 年度	1	1	102
平成 29 年度	2	2	69

(5) ボランティア・市民活動支援者の育成

年 度	開催回数（回）	延べ開催日数（日）	参加実人数（人）
平成 25 年度	2	3	92
平成 26 年度	1	2	47
平成 27 年度	1	1	32
平成 28 年度	1	2	38
平成 29 年度	1	1	32

(6) その他

年 度	開催回数（回）	延べ開催日数（日）	参加実人数（人）
平成 25 年度	0	0	0
平成 26 年度	0	0	0
平成 27 年度	1	1	731
平成 28 年度	0	0	0
平成 29 年度	1	1	66

(7) 延べ研修参加人数

年 度	開催回数（回）	延べ開催日数（日）	参加実人数（人）
平成 25 年度	51	81	3,404
平成 26 年度	38	66	3,202
平成 27 年度	39	66	4,050
平成 28 年度	38	66	2,506
平成 29 年度	47	80	2,900

— 平成 29 年度 —

まちづくりセミナー 実施要領

- 1 趣 旨** 今、地域に何が必要かを考える講座です。それぞれの地域が抱える様々な問題を解決するため、最新の情報を提供します。未来の日本をつくる心豊かでたくましい子どもを地域全体で育み、高齢者が安心して暮らせるために、地域づくりのヒントを一緒に探していきます。
- 2 実施主体** 北九州市社会福祉協議会、北九州市
- 3 研修日程** 平成 29 年 5 月 27 日、6 月 3 日、6 月 24 日、7 月 1 日、7 月 12 日
 おおむね土曜日（全 5 回）（10：00～12：00）
 ※但し、7 月 12 日は、水曜日。13：00～15：00
- 4 会 場** ウェルとばた 1 2 階 H・I 研修室他（戸畑区汐井町 1-6）
 北九州市立葛原市民センター（小倉南区葛原本町 3-4-34）
 ※第 2 回のみ外部視察。現地集合・解散
- 5 対 象 者** テーマに関心のある方 30 名（定員を超えた場合は抽選）
- 6 受 講 料** 700 円
- 7 研修内容**

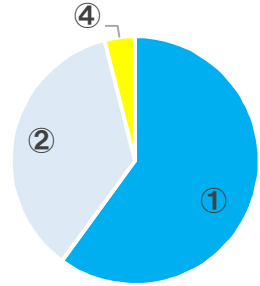
時 間	内 容	講 師 等
①	講 演（子育て支援 1） 「子どもの未来を応援」 ～子どもの貧困対策を考える～	NPO 法人 抱樸 理 事 長 奥 田 知 志
②	視 察・活動発表（高齢者支援 1） 「買い物支援で高齢者にいきがいを」 ～地域に参加 おもいをか奸にするために～	小倉南区葛原校区社会福祉協議会 会 長 桑 原 英 夫
③	講 演（高齢者支援 2） 「集まって住むってステキ」 ～シニアシェアハウス～	高齢社会をよくする北九州女性の会 代 表 富 安 兆 子
④	講 義・ワ ー ク（まちの活性化） 「まちづくりのコミュニケーション術」 ～20年後を考える～	西日本工業大学 客員教授 九 十 九 誠
⑤	講 演・交 流 会（子育て支援 2） 「子どもの居場所づくり」 ～子ども食堂～	九州環境プラン(株) (サンタクロース亭) 代表取締役 岡 本 寛 大

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 日 数	修 等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)						
	56 人	47 人	163 人	61.1 才			5 日	10 時間
	14・42	83.9 %						

■ アンケート結果

全体評価	回答	研修全体 について	①	②	③	④	⑤
	(回収率)		全く その通り	どちらか と言うと その通り	どちらか とも言 えない	どちらか と言うと そうでない	全く そうでない
	26 件 55.3 %	満足 できたか?	15	9	0	1	0



主な意見
■ 子どもの貧困をなくすのは、親の教育や支援が必要であると感じた。
■ 買い物支援は無理なく活動を続けてほしい。ボランティアの確保が課題だ。
■ 将来シェアハウスで、共に生き、助け合うという選択肢も増えると思う。
■ マンションも高齢化が進んでいる。サロンなど作りコミュニケーションをはかりたい。
■ 子ども食堂の今後のやり方及び地域活動での食堂の役割を認識させることが重要。

■ 事業点検

点検・講評
■ 参加者の世代が幅広い。アンケートより、それぞれが目的を持って研修に参加している。講義内容、講師陣についても人気が高かった。グループワークでは、様々な話を聞き、改めて考えるきっかけづくりとなったようだ。
(今後の取り組み) ■ 次年度も、活動者に興味を持って学んでもらえるようなテーマづくりをしたい。

■ 研修風景

子どもの貧困対策		シニアシェアハウス	
買い物支援		まちづくりのコミュニケーション術	

— 平成 29 年度 —

ふくしのまちづくり講座(門司区・伊川校区) 実施要領

- 1 趣 旨** 「ふくしのまちづくり講座」は、地域の福祉活動を進めるため、地域の課題解決や新たな人材の獲得を目指し、校区社協・区社協・市社協が協働で講座を開催するものです。
伊川校区では、講座を通して、参加者が、あらためて地域のことを学んだり、活動者との交流をはかったりして、ボランティアへの関心を高めてもらうことを目的とし、地域で活躍できる新たなボランティアの獲得を図ります。
- 2 実施主体** 伊川校区・門司区・北九州市社会福祉協議会、北九州市
- 3 会 場** 伊川市民サブセンター（門司区大字伊川1462-1）
- 4 対 象 者** 地域にお住まいの方
- 5 受 講 料** 無料
- 6 タイトル** 「いつまでも かがやいて わかわかしく」
- 7 研修日程・内容**

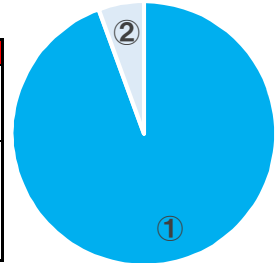
日 程		内 容	講 師 等
一日目 12月 1日 (金)	13:00 ～	開 会・オリエンテーション	伊川校区社会福祉協議会
	13:10 ～ 15:00		
二日目 12月 22日 (金)	13:00 ～ 15:00	「いつまでもキレイで健康に！ ～今日から始めよう リンパケア～」	NPO法人メディケアリンパ協会 理事長 丸尾 聖美
三日目 1月 24日 (水)	13:00 ～ 14:30	元気の秘訣は地域活動にあり！ 「幸せな人間関係」	北九州市立大学名誉教授 臨床心理士 中島 俊介
	14:30 ～ 15:00	「はじまりました！ 小地域福祉活動第一次計画」	伊川校区社会福祉協議会
	～ 15:00	閉 会	伊川校区社会福祉協議会

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研日数 修等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	—	23	65	—		3	6
	— 人	— 人	— 人	— 才		— 日	— 時間

■ アンケート結果

全体評価	回答 (回収率)	研修全体 について	①	②	③	④	⑤
			全く その通り	どちらか と言うと その通り	どちらか とも 言えない	どちらか と言うと そうでない	全く そうでない
	22 件 95.7%	満足 できたか?	17	1	0	0	0



主な意見	■ 学んだ知識・体操をサロンで活用していきたい。
	■ 自分が地域で活動していくためには、健康でないといけないということを改めて認識したので、体操等続けて行きたい。
	■ これから地域福祉活動に積極的に参加して行きたいと思った。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ プログラムの内容は好評であった。体操等に興味を持って参加してくれる人が多くいるので、プログラムごとに少しずつ社協活動についての事業説明をするなどし、社協活動について知ってもらうきっかけづくりをしていくことが必要だと感じた。
--------------------	---

■ 研修風景

誰でも簡単！ためよう筋肉貯金！		元気の秘訣は地域活動にあり！	
いつまでもキレイで健康に！		はじまりました！小地域福祉活動第一次計画	

— 平成 29 年度 —

ふくしのまちづくり講座(門司区・松ヶ江北校区) 実施要領

- 1 趣 旨** 「ふくしのまちづくり講座」は、地域の福祉活動を進めるため、地域の課題解決や新たな人材の獲得を目指し、校区社協・区社協・市社協が協働で講座を開催するものです。
松ヶ江北校区では、講座を通して、参加者が、あらためて地域のことを学んだり、活動者との交流をはかったりして、ボランティアへの関心を高めてもらうことを目的とし、地域で活躍できる新たなボランティアの獲得を図ります。
- 2 実施主体** 松ヶ江北校区・門司区・北九州市社会福祉協議会、北九州市
- 3 会 場** 北九州市立松ヶ江北市民センター（門司区大字畑903）
- 4 対 象 者** 地域にお住まいの方
- 5 受 講 料** 無料
- 6 タイトル** 「元気になる栄養補助講座 ～講座でつながろう！松北のきずな～」
- 7 研修日程・内容**

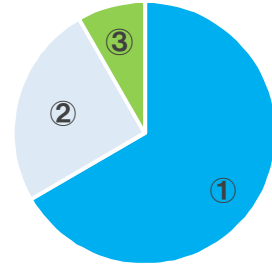
日 程		内 容	講 師 等
一日目	10:30 ～	開 会・オリエンテーション	松ヶ江北校区社会福祉協議会
12月 16日 (土)	10:40 ～ 11:30	学生とつながる！ 音楽で多世代交流	門司学園中学校 門司学園高等学校 吹 奏 楽 部
二日目	18:30 ～ 20:00	歴史をつなぐ！ 日本酒で学ぶ、文化と歴史	地酒処田村本店 四代目 田村洋文
1月 12日 (金)	10:00 ～ 11:00	命をつなぐ！ いざという時の応急救護 ～AED 講習～	特別養護老人ホーム日赤豊寿園 救急法指導員
三日目	11:00 ～ 11:30	きずなをつなぐ！ ふれあいネットワーク活動	門司区社会福祉協議会 事務局長 小田光江
2月 16日 (金)	～ 11:30	閉 会	松ヶ江北校区社会福祉協議会

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研日数 修等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	— 人	34 人	113 人	— 才		3 日	6 時間

■ アンケート結果

全体評価	回答	研修全体について 満足できたか?	①	②	③	④	⑤
	(回収率)		全くその通り	どちらかと言うとその通り	どちらとも言えない	どちらかと言うとそうでない	全くそうでない
	26 件 76.5%		16	6	2	0	0



主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ■ 地域のつながりの大切さを改めて感じた。 ■ 普段、若い世代と交流する事が少ないので、これをきっかけに今後も交流していければと思う。 ■ 地域行事などでいざという時に対応できる心構えが身に付いた。
------	---

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	<ul style="list-style-type: none"> ■ プログラムの内容は好評であった。しかし、全3回に出席した人は少なく、自分の興味があるプログラムに参加するような感じが見受けられたので、毎回少しずつ社協活動についての事業説明をするなどし、社協活動について知ってもらうきっかけづくりをしていく工夫が必要だと感じた。
--------------------	--

■ 研修風景

音楽で多世代交流		いざという時の応急救護	
日本酒で学ぶ、歴史と文化		ふれあいネットワーク活動	

— 平成 29 年度 —

ふくしのまちづくり講座(小倉北区・城野第一校区) 実施要領

- 1 趣 旨** 「ふくしのまちづくり講座」は、地域の福祉活動を進めるため、地域の課題解決や新たな人材の獲得を目指し、校区社協・区社協・市社協が協働で講座を開催するものです。
 城野校区では、講座を通して、参加者が、あらためて地域のことを学んだり、活動者との交流をはかったりして、ボランティアへの関心を高めてもらうことを目的とし、地域で活躍できる新たなボランティアの獲得を図ります。
- 2 実施主体** 城野第一地区・城野校区・小倉北区・北九州市社会福祉協議会、北九州市
- 3 会 場** 北九州市立城野市民センター（小倉南区富士見3-1-3）
- 4 対 象 者** 地域にお住まいの方
- 5 受 講 料** 無料
- 6 タイトル** 「もう一度見直そう 城野のまち」
- 7 研修日程・内容**

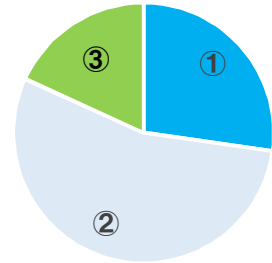
日 程		内 容	講 師 等
一日目 1月 12日 (金)	19:00 ～	開 会・オリエンテーション	城野第一校区社会福祉協議会
	19:10 ～ 21:00	【講話・グループワーク①】 「城野です〜っと暮らしたい」 このまちのいいところや課題について話し合おう！	北九州市立大学 地域共生教育センター 特任教員 村江 史年
二日目 2月 9日 (金)	19:00 ～ 21:00	【講話・グループワーク②】 「もっとよくなる 城野のまち」 課題を共有し合い、解決に向けてみんなで考えてみよう！	北九州市立大学 地域共生教育センター 特任教員 村江 史年
三日目 3月 9日 (金)	19:00 ～ 20:50	【まとめ&交流会】 「みんなが安心して暮らせるために 私たちにできること」	北九州市立大学 地域共生教育センター 特任教員 村江 史年
	21:00	閉 会	城野第一校区社会福祉協議会

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 日 数	修 等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)					延	延
	— 人	22 人	63 人	— 才			3 日	6 時間
	—・— %	— %						

■ アンケート結果

全体評価	回答	研修全体 について	①	②	③	④	⑤
	(回収率)		全く その通り	どちらか と言うと その通り	どちらか とも言 えない	どちらか と言うと そうでない	全く そうでない
	11 件 50.0 %	満足 できたか?	3	6	2	0	0



主な意見	■ 今回の研修で、次回どのようにまとめられ、これからの城野のまちづくりにつながっていくのが楽しみだ。
	■ 他地域のまちづくりの事例を知ることができたことと、地域の課題を共有することができてよかった。
	■ 城野の思いをカタチにしてかつ継続性を持たせて素敵なまちづくりをしていきたい。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ グループワークをすることで、全員が自由に発言でき、課題の共有や、今後の城野の方向性を共有する場になったのではないと思われる。
	■ 城野校区の学校関係者（校長先生等）や事業所の方なども参加され、地域とつながるきっかけやそれぞれの立場から地域の活性化のために何ができるかという事をしっかりと考えられているように感じた。

■ 研修風景

城野ですらっと導きたい



みんなが安心して導くために私たちが準備しよう



もっとよくなる 城野のまち





— 平成 29 年度 —

ふくしのまちづくり講座（小倉南区・葛原校区）実施要領

- 1 趣 旨** 「ふくしのまちづくり講座」は、地域の福祉活動を進めるため、地域の課題解決や新たな人材の獲得を目指し、校区社協・区社協・市社協が協働で講座を開催するものです。
葛原校区では、講座を通して、参加者が、あらためて地域のことを学んだり、活動者との交流をはかったりして、ボランティアへの関心を高めてもらうことを目的とし、地域で活躍できる新たなボランティアの獲得を図ります。
- 2 実施主体** 葛原校区・小倉南区・北九州市社会福祉協議会、北九州市
- 3 会 場** 北九州市立葛原市民センター（小倉南区葛原本町3-4-34）
- 4 対 象 者** 地域にお住まいの方（全4回参加できる方）
- 5 受 講 料** 無料
- 6 タイトル** 「逃げ友をつくろう！もしもの時、あなたはいつ避難する？」
- 7 研修日程・内容**

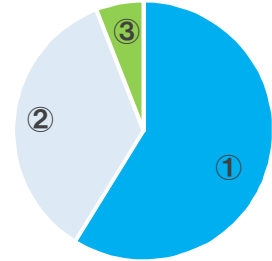
日 程	内 容	講 師 等
一日目 19:00～	開 会・オリエンテーション	葛原校区社会福祉協議会
10月 10日 (火) 19:10～ 21:00	「葛原のここが心配！」 ～防災・減災の目で 葛原校区を見てみよう～	北九州市危機管理室
二日目 11月 7日 (火) 19:00～ 21:00	「逃げ友をつくろう！」 ～災害が起こった時、あなたは いつ だれと逃げますか～	北九州市みんな deBousai まちづくり推進事業 ファシリテーター 古野 陽一
三日目 11月 28日 (火) 19:00～ 21:00	「避難所 HUG (避難所運営疑似体験ゲーム)を 体験してみよう」	北九州市危機管理室
四日目 12月 19日 (火) 19:00～ 20:50	「つくってみよう！ 葛原版 避難マニュアル」	北九州市みんな deBousai まちづくり推進事業 ファシリテーター 古野 陽一
～ 21:00	閉 会	葛原校区社会福祉協議会

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研日数 修等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	— 人	25 人	114 人	— 才		4 日	8 時間
	—・—	— %					

■ アンケート結果

全体評価	回答	研修全体について	①	②	③	④	⑤
	(回収率)		全くその通り	どちらかと言うとその通り	どちらかとも言えない	どちらかと言うとそうでない	全くそうでない
	17 件 68.0 %	満足 できたか?	10	6	1	0	0



主な意見	■ 防災について地域の皆で話し合う事ができてよかった。
	■ 災害時に自分がとるべき行動を考えることができた。
	■ いざ災害が起きてもコミュニケーションがとれていなければ情報も回って来ないので、日頃からのコミュニケーションづくりが大切だということがわかった。
	■ グループで話し合うことで、自分では思いつかない意見を発見する事ができてよかった。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 新たに災害ボランティアを2名発掘することができた。
	■ 町内ごとにグループを設定したため、ご近所のつながりを作ることができた。
	■ 近年災害が多発し、危機意識が高まっている時期にこの研修を開催したことは、研修後も継続して地域にとってよりよい災害時の対策を考えるきっかけになったように感じた。今後の校区の発展に期待できる。

■ 研修風景

葛原のここが心配！		避難所運営疑似体験ゲームを体験してみよう	
逃げ友をつくろう！		つくってみよう！ 葛原版 避難マニュアル	

— 平成 29 年度 —

ふくしのまちづくり講座（小倉南区・湯川校区）実施要領

- 1 趣 旨** 「ふくしのまちづくり講座」は、地域の福祉活動を進めるため、地域の課題解決や新たな人材の獲得を目指し、校区社協・区社協・市社協が協働で講座を開催するものです。
湯川校区では、講座を通して、参加者が、あらためて地域のことを学んだり、活動者との交流を深め、ボランティアへの関心を高めてもらうことを目的とし、地域で活躍できる新たなボランティアの獲得を図ります。
- 2 実施主体** 湯川校区・小倉南区・北九州市社会福祉協議会、北九州市
- 3 会 場** 北九州市立湯川市民センター（小倉南区湯川1-8-33）
- 4 対 象 者** 地域にお住まいの方（全3回参加できる方）
- 5 受 講 料** 無料
- 6 タイトル** 「人生90年（超）！人と地域をつなぐ ふくしのまちづくり ゆがわ」
- 7 研修日程・内容**

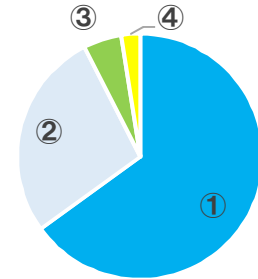
日 程		内 容	講 師 等
一日目 10月 19日 (木)	13:00 ～ 13:10	開 会・オリエンテーション	湯川校区社会福祉協議会
	13:10 ～ 14:00	「ふくしのまちづくりを知ろう」 ①社会福祉協議会について ②湯川校区のふれあいネットワーク 活動推進事業について	小倉南区社会福祉協議会 事務局長 崎 田 一 彦 ふれあいネットワーク推進協議会 会 長 山 岡 信 幸
	14:00 ～ 15:00	「自宅でできるストレッチ」	NPO 法人 北九州スポーツクラブ連絡会 運動指導員 亀 谷 杏 美
二日目 11月 16日 (木)	13:00 ～ 13:05	オリエンテーション	ふれあいネットワーク推進協議会 第二ブロック長 林 慶 典
	13:05 ～ 14:30	「人づきあい・笑って健康」	北九州生涯学習講師・メンタルケア・アドバイザー 赤 松 文 雄
	14:30 ～ 15:00	「地域のことをおしゃべりしてみよう」	参加者のみなさん
三日目 12月 21日 (木)	13:00 ～ 13:05	オリエンテーション	ふれあいネットワーク推進協議会 第二ブロック長 林 慶 典
	13:05 ～ 14:40	「湯川（ここ）で生きていく」	おとなりさんネットワーク「えん」 代 表 田 代 久 美 枝
	14:40 ～ 14:55	アンケート記入・回収	
	～ 15:00	閉 会	湯川校区社会福祉協議会 会 長 村 内 実

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 日 数	修 等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)					延	延
	69 人	54 人	152 人	— 才			3 日	6 時間
	22・47	78.3 %						

■ アンケート結果

全体評価	回答	研修全体 について	①	②	③	④	⑤
	(回収率)		全く その通り	どちらか と言うと その通り	どちらとも 言えない	どちらか と言うと そうでない	全く そうでない
	44 件	満足 できたか?	26	11	2	1	0
	81.5 %						



主な意見	■ 社会福祉協議会の活動を初めて知った。これから自分も地域のお役に立てるように努力していく。
	■ 学んだストレッチをご近所の高齢者の方に教えながら一緒にやっていきたいと思う。
	■ 地域のみんなで協力し合い、助け合いながら、ずっと湯川で暮らしていきたい。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 参加者の半分が非活動者であり、湯川校区での活動を知ってもらえる機会になったと思われる。
	■ グループワークの中で地域の課題を出し合い、解決策を話し合うことで地域のことを知る事ができたと講評であった。この話し合いが今後の地域活動につながっていくように感じた。

■ 研修風景

湯川校区ふれあいネットワーク 活動推進事業について		人づきあい・笑って健康	
自宅でもできるストレッチ		湯川（こ）で生きていく	

— 平成 29 年度 —

ふくしのまちづくり講座（若松区・藤ノ木校区）実施要領

- 1 趣 旨** 「ふくしのまちづくり講座」は、地域の福祉活動を進めるため、地域の課題解決や新たな人材の獲得を目指し、校区社協・区社協・市社協が協働で講座を開催するものです。
藤ノ木校区では、後期高齢者が増加する「2025年問題」も見据え、福祉マップ等を活用し、見守り対象世帯の把握や、より良い見守り活動について話し合うことで、見守り活動の更なる充実を図るとともに、新たな活動者の発掘を目指します。
- 2 実施主体** 藤ノ木校区・若松区・北九州市社会福祉協議会、北九州市
- 3 会 場** 北九州市立藤ノ木市民センター（若松区赤島町20-13）
- 4 対 象 者** 地域にお住まいの方
- 5 受 講 料** 無料
- 6 タイトル** みんなでみまもる安心して暮らせる藤ノ木！～見守り活動の構築～
- 7 研修日程・内容**

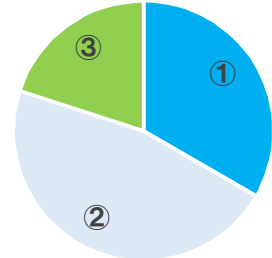
日 程		内 容	講 師 等
一日目 11月 18日 (土)	13:30 ～	開 会・オリエンテーション	藤ノ木校区社会福祉協議会
	13:40 ～ 15:30	【講義】 「どんと来い 2025年！安心 できる福祉のまちづくり」 【話し合い】 見守りが必要な人とは…？	若松区社会福祉協議会
二日目 12月 16日 (土)	13:30 ～ 15:30	【話し合い・作業】 「わたしたちのご近所の要支 援者と福祉協力員の発掘」	若松区社会福祉協議会
三日目 2月 17日 (土)	13:30 ～ 15:25	【まとめ】 まとめに変えて、今後の活動について	若松区社会福祉協議会
	～ 15:30	閉 会	藤ノ木校区社会福祉協議会

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研日数 修等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	— 人	37 人	113 人	— 才		3 日	6 時間
	—・—	— %					

■ アンケート結果

全体評価	回答	研修全体について	①	②	③	④	⑤
	(回収率)		全くその通り	どちらかと言うとその通り	どちらとも言えない	どちらかと言うとそうでない	全くそうでない
	16 件 43.2 %	満足 できたか?	5	7	3	0	0



主な意見	■ 今後、見守りの必要な方が増えてくるので、民生委員と福祉協力員の連携が不可欠だと感じた。
	■ 民生委員や福祉協力員が合同で話し合えたことがよかった。これを各自治会で年に2～3回の会議へと発展させていくよう努力したい。
	■ 各地区で話し合えたことが有意義だったので今後の会議で活かしたい。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 意見交換会は、各班活発に行われた。いろいろな意見が聞けてよかったと好評だった。
	■ 他校区の連絡調整会議の様子を動画で流したが、会議の進行の仕方など参考になったようだ。 しかし、動画を流す際は音割れ等に注意したい。

■ 研修風景

安心して近所の福祉のまちづくり		わたしたちの近所の支え手と福祉協力員の養成	
見守りが必要な人とは…?		まとめて変えて、今後の活動について	

— 平成 29 年度 —

ふくしのまちづくり講座(八幡東区・尾倉第三地区) 実施要領

- 1 趣 旨** 「ふくしのまちづくり講座」は、地域の福祉活動を進めるため、地域の課題解決や新たな人材の獲得を目指し、地区社協・区社協・市社協が協働で講座を開催するものです。
- 尾倉第三地区では、講座を通して、参加者が、あらためて地域のことを学んだり、活動者との交流をはかったりして、ボランティアへの関心を高めてもらうことを目的とし、地域で活躍できる新たなボランティアの獲得を図ります。
- 2 実施主体** 尾倉第三地区・八幡東区・北九州市社会福祉協議会、北九州市
- 3 会 場** 北九州市立尾倉市民センター（八幡東区尾倉1-15-2）
- 4 対 象 者** 地域にお住まいの方
- 5 受 講 料** 無料
- 6 タイトル** 「誰もが地域社会に、
貢献できるわたくしたちの町・尾倉第三地区」
- 7 研修日程・内容**

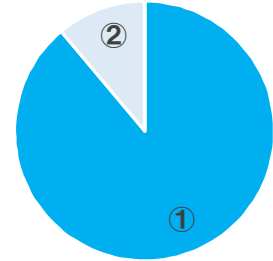
日 程		内 容	講 師 等
一日目	19:00 ～	開 会・オリエンテーション	尾倉第三地区社会福祉協議会
11月 21日 (火)	19:10 ～ 21:00	「認知症を理解し予防しよう」 ～地域での支え合いを考えてみよう～	キャラバンメイト 中原 尚子
二日目	19:00 ～ 21:00	「人づきあい・笑って健康」 ～笑いで地域をつなげよう～	北九州生涯学習講師・メンタルケア・アドバイザー 赤松 文雄
1月 25日 (木)			
三日目	14:00 ～ 15:20	「地域での支え合いについて」 ～尾倉第三のまちで私ができること～	北九州市立大学 名誉教授 臨床心理士 中島 俊介
2月 24日 (土)	～ 15:30	閉 会	尾倉第三地区社会福祉協議会

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研日数 修等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	—	31	71	—		3	6
	— 人	— 人	— 人	— 才		— 日	— 時間

■ アンケート結果

全体評価	回答	研修全体について	①	②	③	④	⑤
	(回収率)		全くその通り	どちらかと言うとその通り	どちらかとも言えない	どちらかと言うとそうでない	全くそうでない
	19件 61.3%	満足できたか?	16	2	0	0	0



主な意見	■ 認知症の人に対する接し方がよくわかった。自分も認知症にならないよう生活習慣を良くしていきたいと思う。
	■ 笑いで頭の中を活性化させ、健康で長生きしたいと思った。
	■ 気持ちにゆとりを持って、毎日を過ごしたいと思った。
	■ 今まで考えつかなかったことを教えていただいた。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 認知症の症状、その一時対処の仕方、予防方法等を簡単にまとめて、各家庭で貼っておけるようなパンフレットが欲しいとの声があった。
	■ 身体や心の病気に良い作用があるとされる、「笑い」の重要性が認識できた。
	■ 普段、生活しているうえで意識していないことも、具体的な例を挙げての講話を聞くことで、共感し、心に響くと実感できた。

■ 研修風景

開会		人づきあい・笑って健康	
認知症を理解し予防しよう		地域での支え合いについて	

— 平成 29 年度 —

ふくしのまちづくり講座（八幡東区・大蔵第三地区）実施要領

- 1 趣 旨** 「ふくしのまちづくり講座」は、地域の福祉活動を進めるため、地域の課題解決や新たな人材の獲得を目指し、地区社協・区社協・市社協が協働で講座を開催するものです。
- 大蔵第三地区では、講座を通して、参加者が、あらためて地域のことを学んだり、活動者との交流をはかったりして、ボランティアへの関心を高めてもらうことを目的とし、地域で活躍できる新たなボランティアの獲得を図ります。
- 2 実施主体** 大蔵第三地区・八幡東区・北九州市社会福祉協議会、北九州市
- 3 会 場** 北九州市立大蔵市民センター（八幡東区大蔵 2-1-40）
- 4 対 象 者** 地域にお住まいの方
- 5 受 講 料** 無料
- 6 タイトル** 「両隣 挨拶 目配り 支え合い」
- 7 研修日程・内容**

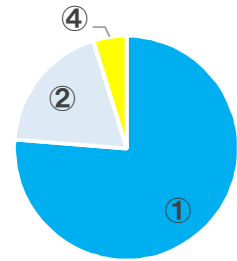
日 程		内 容	講 師 等
一日目	19:00 ～	開 会・オリエンテーション	大蔵第三地区社会福祉協議会
12月 18日 (月)	19:10 ～ 20:30	「認知症を学び予防しよう！」 ～地域での支え合いを実践してみよう～	認知症サポーター キャラバンメイト 猪 熊 和 仁
二日目	10:00 ～ 11:30	「災害について知ろう！」 ～いざという時の備えと初期行動の大切さ～	北九州市 危機管理室 松 野 雄 介
三日目	10:00 ～ 11:20	「地域の支え合いについて 考えよう！」 ～幸せなコミュニケーション～	北九州市立大学 名誉教授 臨床心理士 中 島 俊 介
19日 (月)	～ 11:30	閉 会	大蔵第三地区社会福祉協議会

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 日 数	修 等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)					延	延
	— 人	28 人	91 人	— 才			3 日	6 時間

■ アンケート結果

全体評価	回答	研修全体 について	①	②	③	④	⑤
	(回収率)		全く その通り	どちらか と言うと その通り	どちらか とも言 えない	どちらか と言うと そうでない	全く そうでない
	21 件 75.0 %	満足 できたか?	16	4	0	1	0



主な意見	■ 認知症状の状況及び本人と介護者の実態は理解できたが、予防についても少し知りたかった。
	■ 災害のための備えというどうしても構えてしまうが、普段から使用することを想定して備蓄することが大切だと思った。
	■ 3回の講座のテーマを分けることで、より興味がわく。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 「地域包括支援センター」(北九州市作成)の資料が各家庭に配布されると良いと思うという意見があった。
	■ 災害に関する研修は、知識を得るためにも有意義だが、実際に動けるかどうか不安という声もあった。避難訓練の必要性が感じられる。
	■ 講座は大変好評であったので、今後はもっと受講人数を増やす工夫が必要。

■ 研修風景

開会		災害について知ろう！	
認知症を学び予防しよう！！		地域の支え合いについて考えよう！	

— 平成 29 年度 —

ふくしのまちづくり講座（八幡西区・大原校区）実施要領

- 1 趣 旨** 「ふくしのまちづくり講座」は、地域の福祉活動を進めるため、地域の課題解決や新たな人材の獲得を目指し、校区社協・区社協・市社協が協働で講座を開催するものです。
大原校区では、参加者が自分の住んでいる地域について再確認し、それを活かしたまちづくりを学び、活動をさらに充実させることを目的に、講座を開催します。
そして、これらの取り組みの過程で、地域でともに活躍できる仲間を増やす きっかけづくりやノウハウを習得することを目指します。
- 2 実施主体** 大原校区・八幡西区・北九州市立社会福祉協議会、北九州市
- 3 会 場** 北九州市立大原市民センター（八幡西区上上津役 3-21-21）
- 4 対 象 者** 地域にお住まいの方
- 5 受 講 料** 無料
- 6 タイトル** 「元気な地域をつくる！ ～大原校区社協を支える仲間を増やそう～」
- 7 研修日程・内容**

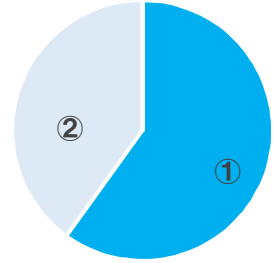
日 程		内 容	講 師 等
一日目	13:30 ～	開 会・オリエンテーション	大原校区社会福祉協議会
10月 27日 (金)	13:40 ～ 15:30	「まちづくりの仕掛けを学ぼう！」	(株)まちづくり計画研究所 代表取締役 今泉 重敏 氏
二日目	13:30 ～ 15:30	「質の高い人間関係から生まれる、 あなたの幸せ！」	(株)まちづくり計画研究所 代表取締役 今泉 重敏 氏
11月 24日 (金)			
三日目	13:30 ～ 15:20	「やればできる!! ココでふんバル、がんばる、 おおぼる」	(株)まちづくり計画研究所 代表取締役 今泉 重敏 氏
1月 19日 (金)			
	～ 15:30	閉 会	大原校区社会福祉協議会

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 日 数	修 等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)						
	— 人	18 人	57 人	— 才			3 日	6 時間

■ アンケート結果

全体評価	回答 (回収率)	研修全体 について	①	②	③	④	⑤
			全く その通り	どちらか と言うと その通り	どちらか とも 言えない	どちらか と言うと そうでない	全く そうでない
	15 件 83.3 %	満足 できたか?	9	6	0	0	0



主な意見	■ 視点を変えて自分にできることをすることが、地域の活性化につながることを学んだ。
	■ 他の地域のまちづくりの仕掛けを参考にして、楽しく大原校区らしい地域づくりをしていきたいと思う。
	■ みんなで校区の課題について話し合いをすることは楽しかったし、前進できた。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 他の地域のまちづくりの仕掛けを知ることは刺激になったと思う。また、各々の視点を変えることや少しのきっかけで地域を良くしていく仕組みを作ることができるということを学ぶことができたと思う。
	■ 校区の課題についてみんなで話し合いを行うことで、地域づくりに対する意識が変わったという声が多くあがり、今後の大原校区の発展に期待できる。

■ 研修風景

まちづくりの仕掛けを学ぼう！		やればできる!! コロコロぶんばる!! がんばる、おおほる①	
質の高い人間関係から生まれる、あなたの幸せ！		やればできる!! コロコロぶんばる!! がんばる、おおほる②	

— 平成 29 年度 —

ふくしのまちづくり講座（八幡西区・赤坂地区）実施要領

- 1 趣 旨** 「ふくしのまちづくり講座」は、地域の福祉活動を進めるため、地域の課題解決や新たな人材の獲得を目指し、地区社協・区社協・市社協が協働で講座を開催するものです。
赤坂地区では、講座を通して、参加者が、あらためて地域のことを学んだり、活動者との交流をはかったりして、ボランティアへの関心を高めてもらうことを目的とし、地域で活躍できる新たなボランティアの獲得を図ります。
- 2 実施主体** 赤坂地区・八幡西区・北九州市社会福祉協議会、北九州市
- 3 会 場** 北九州市立赤坂市民センター（八幡西区星和町28-26）
- 4 対 象 者** 地域にお住まいの方（全3回参加できる方）
- 5 受 講 料** 無料
- 6 タイトル** 「わがまち赤坂で暮らしていくために・・・」

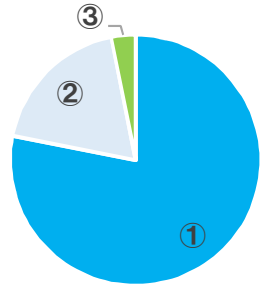
日 程		内 容	講 師 等
一日目 9月 25日 (月)	10:00 ～	開 会・オリエンテーション	赤坂地区社会福祉協議会
	10:10 ～ 12:00	講義 「健康寿命って なあに？」 実技 「みんなでやってみよう！ 健康体操」	NPO 法人北九州スポーツクラブ連絡会 会 長 高 橋 八十弥
二日目 11月 8日 (水)	10:00 ～ 12:00	講演 「ずーっと赤坂で安心して 暮らしていくために」	おとなりさんネットワーク「えん」 代 表 田 代 久美枝
三日目 1月 17日 (水)	10:00 ～ 11:55	「サロンのあれこれ！ あっちのサロンは なんしょ～ん」	永犬丸校区社会福祉協議会 地域VO 金 武 節 子 地域VO 桐 原 真由美
	～ 12:00	閉 会	赤坂地区社会福祉協議会

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 日 数	修 等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)					延	延
	— 人	41 人	105 人	— 才			3 日	6 時間
	—・—	— %						

■ アンケート結果

全体評価	回答	研修全体 について	①	②	③	④	⑤
	(回収率)		① 全く その通り	② どちらか と言うと その通り	③ どちらか とも言 えない	④ どちらか と言うと そうでない	⑤ 全く そうでない
	33 件 80.5 %	満足 できたか?	25	6	1	0	0



■ 主な意見

- 健康寿命を延ばすため、適度な運動を継続することが効果的であることを再確認し、自分の健康について改めて考えるきっかけになった。
- 認知症の方や一人暮らしの方など地域で支えることの重要性がよくわかった。
- 他校区のサロンのレクリエーションはとても参考になった。地域でのサロンで実践したい。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 他部署と連携することにより、生活福祉課の受託事業（高齢者地域交流支援通所事業）の利用者1名の確保につながった。
	■ 他校区のサロン活動を紹介することで、自分の地域の活動内容と比較することができ、お互いが刺激になったのではないかと思います。赤坂地区の今後の発展が期待できる。

■ 研修風景

講義「健康寿命ってなあに？」		「まーっとお家で安心して暮らしていきたいと思います」	
実技「みんなでやってみよう！健康体操」		「サロンのあれこれ！あこちのサロンはなんしよん」	

— 平成 29 年度 —

ふくしのまちづくり講座（戸畑区・一枝地区）実施要領

「一枝 あったか 支えあいマップづくり ～ 一枝笑顔の再発見 ～」

- 1 趣 旨** 「ふくしのまちづくり講座」は、地域の福祉活動を進めるため、地域の課題解決や新たな人材の獲得を目指し、地区社協・区社協・市社協が協働で開催するものです。
一枝地区では、小地域福祉活動計画の取り組みの一環として、防犯・防災マップに引き続き、今回、支えあいマップを作成します。
マップづくりを通じて、見守り対象世帯の把握や新たな活動者の発掘など、より良い見守り活動について話し合うことで、ふれあいネットワーク活動の更なる充実を図ることを目的に実施します。
- 2 実施主体** 一枝地区・戸畑区・北九州市社会福祉協議会、北九州市
- 3 会 場** 北九州市立一枝市民センター（戸畑区一枝1-8-1）
- 4 対象者** 小地域福祉活動計画推進委員 福祉協力員等
- 5 申込み** 不要
- 6 研修日程・内容**



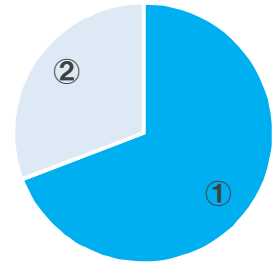
日 程		内 容	講 師 等
一日目 7月 27日 (木)	19:00	開 会 オリエンテーション	一枝地区社会福祉協議会 事務局長 福本 英昭
	19:05 ┆ 19:15	【小地域福祉活動計画取組み報告】 「一枝地区防犯・防災マップ」	一枝地区社会福祉協議会 会 長 堀 渕 正
	19:15 ┆ 21:00	【講義】 ①「聞いてみよう！ 先進地区の取り組み」 ②「次回、支えあいマップづくりに 向けて調査方法の説明と作業」	若松区 浜町地区社会福祉協議会 事務局長 金山 千恵
二日目 9月 21日 (木)	19:00 ┆ 21:00	【演習】 「支えあいマップを作ろう！ ～より良い見守り、笑顔の再発見～」	若松区 浜町地区社会福祉協議会 事務局長 金山 千恵
三日目 11月 30日 (木)	19:00 ┆ 20:40	【演習】 「支えあいマップの確認と 見守り活動の体制整備」	一枝地区社会福祉協議会
	20:45	閉 会	一枝地区社会福祉協議会

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研日数 修等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	— 人	36 人	101 人	— 才		3 日	6 時間
	—・—	— %					

■ アンケート結果

全体評価	回答	研修全体 について	①	②	③	④	⑤
	(回収率)		全く その通り	どちらかと 言うとその通り	どちらとも 言えない	どちらかと 言うとそのでない	全く そのでない
	28 件	満足 できたか?	18	8	0	0	0
	77.8 %						



主な意見	■ 地域は自分達で守るという熱意が感じられた。
	■ 地域で助け合いの大切さを感じた。
	■ 地域の知らない情報をたくさん共有することができた。
	■ 民生委員と協力しながら見守り対象者を支えていきたいと思った。
	■ 地域の気持ちが1つになったような気がする。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ マップを作成するにあたって、必要な地域の情報を交換することにより、福祉協力員全員で地域の実情等を認識でき、地域の情報を共有することができた。また、見守り活動の体制を整備することにより、今後の見守り活動が強化されることが期待できる。

■ 研修風景

開会挨拶		支えあいマップづくり	
先進地区の取り組みについて		見守り活動の体制整備	

— 平成 29 年度 第 1 回 —

福祉有償運送運転協力者研修【福祉車両】実施要領

- 1 目的** 道路運送法施行規則により、福祉有償運送で運転協力者として活動する場合には、国土交通大臣が認定する講習を修了することが必要となります。
このため、運転協力者となることを希望する方に対し、福祉有償運送運転に必要な知識・技術の習得を目的とします。
- 2 実施主体** 北九州市社会福祉協議会、北九州市（国自旅第 2 6 2 号認定）
- 3 日時・会場** 平成 2 9 年 6 月 1 1 日（日） 9 : 1 5 ~ 1 8 : 2 5
北九州市立玄海青年の家（若松区大字竹並 1 2 6 - 2）
- 4 参加対象** 福祉有償運送実施団体の運転協力者となることを希望する方等
※ただし、第一種運転免許を有し、且つ、その効力が過去 2 年以内において停止されていない者であって、免許取得から 3 年以上の実車経験がある者
- 5 受講料** 市内福祉有償運送実施団体登録者（予定者）… 1,000 円
上記以外の者 …………… 7,000 円
- 6 定員** 30 人（定員を超える申込があった場合は調整）
- 7 研修内容**

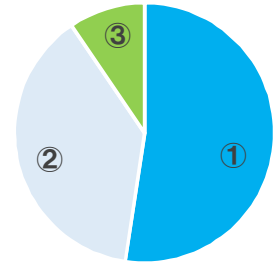
時間	内 容		講 師 等
9 : 1 5 ~ 9 : 2 0	開会	開会挨拶・オリエンテーション	
9 : 2 0 ~ 1 0 : 1 0	講義	関係法令等	北九州タクシー協会 副会長 貞包 健一
1 0 : 1 5 ~ 1 1 : 0 5		安全・安心運行と緊急時対応	
1 1 : 1 0 ~ 1 2 : 0 0		運転方法	
1 2 : 0 0 ~ 1 2 : 5 0	休 憩		
1 2 : 5 0 ~ 1 3 : 4 0	講義	障害の知識及び利用者理解	作業療法士 熊添 潤一
1 3 : 4 5 ~ 1 4 : 4 5		介護技術	
1 4 : 5 0 ~ 1 5 : 5 0		基礎的な接客技術	
1 5 : 5 5 ~ 1 6 : 5 5	実技	福祉自動車の特性	ヘルパーステーション ほほえみ 派遣講師
1 7 : 0 0 ~ 1 8 : 2 0		福祉自動車運転方法(演習)	
1 8 : 2 0 ~ 1 8 : 2 5	閉会	ま と め	

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研日数 修等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	19 人	19 人	19 人	45.4 才		1 日	9 時間
	10・9	100.0 %					

■ アンケート結果

全体評価	回答 (回収率)	研修全体 について	①	②	③	④	⑤
			全く その通り	どちらかと 言うとその通り	どちらとも 言えない	どちらかと 言うとそのでない	全く そうでない
	16 件 84.2 %	満足 できたか?	11	5	0	0	0



主な意見	■ 気遣い、心配りの重要性を感じた。
	■ 講義だけでなく、視覚障害の体験や杖歩行でのポイント、介助の視点等を教えていただき大変参考になった。
	■ 利用者に接するときの心構えなど大変勉強になった。
	■ 常に相手のことを考え、自信をもって介助を行うことが大事だと学んだ。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 擬似体験やドライブレコーダーの実写等を盛り込んだ講義は効果的である。
	■ 野外実習等がある研修開催時期の検討及び雨天時の運営方法の工夫が必要
	■ 実習使用の車両型式の統一、或いは、受講生が今後使用予定の車両の事前把握などにより、研修効果を高めたい。

■ 研修風景

安全安心運行の基本を学ぶ		只今、杖歩行体験中！	
福祉車両運転技能習得中！		修了証書授与式	

— 平成 29 年度 第 1 回 —

福祉有償運送運転協力者研修【セダン型】実施要領

- 1 目 的** 道路運送法施行規則により、福祉有償運送で運転協力者として活動する場合には、国土交通大臣が認定する講習を修了することが必要となります。
このため、運転協力者となることを希望する方に対し、福祉有償運送運転に必要な知識・技術の習得を目的とします。
- 2 実施主体** 北九州市社会福祉協議会、北九州市（国自旅第 2 6 2 号認定）
- 3 日時・会場** 平成 2 9 年 6 月 1 7 日（土） 9：15～11：45
ウエルとばた 1 2 階 H・I 研修室（戸畑区汐井町 1－6）
- 4 参加対象** 福祉有償運送実施団体の運転協力者となることを希望する方等
※ただし、第一種運転免許を有し、且つ、その効力が過去 2 年以内において停止されていない者であって、免許取得から 3 年以上の実車経験がある者
- 5 受講料** 市内福祉有償運送実施団体登録者（予定者）… 1,000 円
上記以外の者 …………… 7,000 円
- 6 定 員** 30 人（定員を超える申込があった場合は調整）

7 研修内容

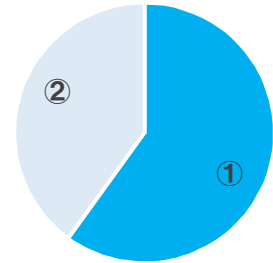
時 間	内 容	講 師 等
9:00～	受 付	
9:15 ～9:20	開 会・オリエンテーション	北九州市社会福祉協議会
9:20 ～10:10	講 義 I 「利用者理解及び 乗降介助等の対応」	作業療法士 熊 添 潤 一
10:20 ～11:40	実 技 「利用者理解及び 乗降介助等の対応」	
11:40 ～11:45	閉 会	北九州市社会福祉協議会

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研日数 修等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	2人	2人	2人	56.5才		1日	3時間
	2・-	100.0%					

■ アンケート結果

全体評価	回答	研修全体について	①	②	③	④	⑤
	(回収率)		全くその通り	どちらかと言うとその通り	どちらかとも言えない	どちらかと言うとそうでない	全くそうでない
	1件	満足できたか?	1	0	0	0	0
	50.0%						



主な意見	■ 身体の動きの基本となる重心移動の詳細な講話についてわかりやすかった。
	■ 車・公共の建物・車イスの構造を詳しく学ぶことができた。
	■ 実車にてポイントの確認ができた。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 体験型研修は効果が高く、今後も取り入れていきたい。
	■ セダン型は福祉車両に比較して、受講生が減少しており、今後の開催方法等の改善・工夫、事業周知等が必要と思われる。
	■ 福祉有償運送業務に関わる社協職員の受講等について再検討する。

■ 研修風景

少人数での開講【セダン型】		セダン型の特徴研究中!	
利用者理解及び乗降介助等の対応		車イス利用者の介助技法	

— 平成 29 年度 第 2 回 —

福祉有償運送運転協力者研修【福祉車両】実施要領

- 1 目的** 道路運送法施行規則により、福祉有償運送で運転協力者として活動する場合には、国土交通大臣が認定する講習を修了することが必要となります。
このため、運転協力者となることを希望する方に対し、福祉有償運送運転に必要な知識・技術の習得を目的とします。
- 2 実施主体** 北九州市社会福祉協議会、北九州市（国自旅第 2 6 2 号認定）
- 3 日時・会場** 平成 2 9 年 1 0 月 1 5 日（日） 9 : 1 5 ~ 1 8 : 2 5
北九州市立玄海青年の家（若松区大字竹並 1 2 6 - 2）
- 4 参加対象** 福祉有償運送実施団体の運転協力者となることを希望する方等
※ただし、第一種運転免許を有し、且つ、その効力が過去 2 年以内において停止されていない者であって、免許取得から 3 年以上の実車経験がある者
- 5 受講料** 市内福祉有償運送実施団体登録者（予定者）… 1,000 円
上記以外の者 …………… 7,000 円
- 6 定員** 30 人（定員を超える申込があった場合は調整）
- 7 研修内容**

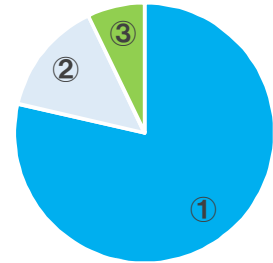
時間	内 容		講 師 等
9 : 1 5 ~ 9 : 2 0	開会	開会挨拶・オリエンテーション	
9 : 2 0 ~ 1 0 : 1 0	講義	関係法令等	北九州タクシー協会 副会長 貞包 健一
1 0 : 1 5 ~ 1 1 : 0 5		安全・安心運行と緊急時対応	
1 1 : 1 0 ~ 1 2 : 0 0		運転方法	
1 2 : 0 0 ~ 1 2 : 5 0	休 憩		
1 2 : 5 0 ~ 1 3 : 4 0	講義	障害の知識及び利用者理解	作業療法士 熊添 潤一
1 3 : 4 5 ~ 1 4 : 4 5		介護技術	
1 4 : 5 0 ~ 1 5 : 5 0		基礎的な接客技術	
1 5 : 5 5 ~ 1 6 : 5 5	実技	福祉自動車の特性	ヘルパーステーション ほほえみ 派遣講師
1 7 : 0 0 ~ 1 8 : 2 0		福祉自動車運転方法(演習)	
1 8 : 2 0 ~ 1 8 : 2 5	閉会	ま と め	

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 日 数 修 等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	14 人	14 人	14 人	48.4 才		1 日	9 時間
	7・7	100.0 %					

■ アンケート結果

全体評価	回答	研修全体 について	①	②	③	④	⑤
	(回収率)		全く その通り	どちらか と言うと その通り	どちらか とも言 えない	どちらか と言うと そうでない	全く そうでない
	14 件	満足 できたか?	11	2	1	0	0
	100.0 %						



主な意見	■ 利用者の不安感を払拭する重要性について体験を通じて知ることができた。
	■ 実技での体験を通して、利用者の立場になって考えることができた。
	■ 実際の活動でも天候不順はあるので、雨天での体験ができてよかった。
	■ 急ブレーキ・急発進など荒い運転は利用者を不安にさせることを学んだ。
	■ 実際のドライブレコーダーの映像は参考になった。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 擬似体験やドライブレコーダーの実写等を盛り込んだ講義は効果的である。
	■ 雨天時の運営方法の工夫が必要であるが、雨天時の実技は比較的効果が大きい。

■ 研修風景

運転方法について		福祉車両運転方法	
介護技術		グループワーク	

— 平成 29 年度 第 2 回 —

福祉有償運送運転協力者研修【セダン型】実施要領

- 1 目的** 道路運送法施行規則により、福祉有償運送で運転協力者として活動する場合には、国土交通大臣が認定する講習を修了することが必要となります。
このため、運転協力者となることを希望する方に対し、福祉有償運送運転に必要な知識・技術の習得を目的とします。
- 2 実施主体** 北九州市社会福祉協議会、北九州市（国自旅第262号認定）
- 3 日時・会場** 平成29年10月21日（土） 9：15～11：45
ウエルとばた12階H・I研修室（戸畑区汐井町1-6）
- 4 参加対象** 福祉有償運送実施団体の運転協力者となることを希望する方等
※ただし、第一種運転免許を有し、且つ、その効力が過去2年以内において停止されていない者であって、免許取得から3年以上の実車経験がある者
- 5 受講料** 市内福祉有償運送実施団体登録者（予定者）… 1,000円
上記以外の者 …………… 7,000円
- 6 定員** 30人（定員を超える申込があった場合は調整）

7 研修内容

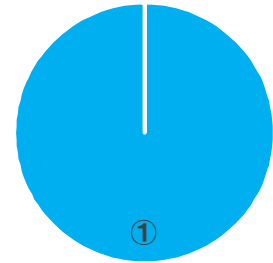
時間	内 容	講 師 等
9:00～	受 付	
9:15 ～9:20	開 会・オリエンテーション	北九州市立社会福祉協議会
9:20 ～10:10	講 義 I 「利用者理解及び 乗降介助等の対応」	作業療法士 熊 添 潤 一
10:20 ～11:40	実 技 「利用者理解及び 乗降介助等の対応」	
11:40 ～11:45	閉 会	北九州市社会福祉協議会

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研日数 修等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	3人	3人	3人	64.7才		1日	3時間
	2・1	100.0%					

■ アンケート結果

全体評価	回答	研修全体について	①	②	③	④	⑤
	(回収率)		全くその通り	どちらかと言うとその通り	どちらかとも言えない	どちらかと言うとそうでない	全くそうでない
	3件	満足できたか?	3	0	0	0	0
	100.0%						



主な意見	■ 研修の中身が濃く、大変勉強になった。
	■ 実技において知らないこともあり認識を新たにした。
	■ 介助される側、介助する側両方の立場を知ることができた。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 体験型研修は効果が高く、今後も取り入れていきたい。
	■ セダン型は福祉車両に比較して、受講生が減少しており、今後の開催方法等の改善・工夫、事業周知等が必要と思われる。
	■ 福祉有償運送業務に関わる社協職員の受講等について再検討する。

■ 研修風景

利用者理解について(講義)		乗降介助等の対応(実技) ②	
乗降介助等の対応(実技) ①		乗降介助等の対応(実技) ③	

— 平成 29 年度 第 3 回 —

福祉有償運送運転協力者研修【福祉車両】実施要領

- 1 目的** 道路運送法施行規則により、福祉有償運送で運転協力者として活動する場合には、国土交通大臣が認定する講習を修了することが必要となります。
このため、運転協力者となることを希望する方に対し、福祉有償運送運転に必要な知識・技術の習得を目的とします。
- 2 実施主体** 北九州市社会福祉協議会、北九州市（国自旅第262号認定）
- 3 日時・会場** 平成30年3月3日（土） 9：15～18：25
北九州市立玄海青年の家（若松区大字竹並126-2）
- 4 参加対象** 福祉有償運送実施団体の運転協力者となることを希望する方等
※ただし、第一種運転免許を有し、且つ、その効力が過去2年以内において停止されていない者であって、免許取得から3年以上の実車経験がある者
- 5 受講料** 市内福祉有償運送実施団体登録者（予定者）… 1,000円
上記以外の者 …………… 7,000円
- 6 定員** 30人（定員を超える申込があった場合は調整）
- 7 研修内容**

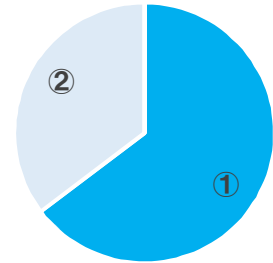
時間	内 容		講 師 等
9：15～ 9：20	開会	開会挨拶・オリエンテーション	
9：20～ 10：10	講義	関係法令等	北九州タクシー協会 副会長 貞包 健一
10：15～ 11：05		安全・安心運行と緊急時対応	
11：10～ 12：00		運転方法	
12：00～ 12：50	休 憩		
12：50～ 13：40	講義	障害の知識及び利用者理解	作業療法士 熊添 潤一
13：45～ 14：45		介護技術	
14：50～ 15：50		基礎的な接客技術	
15：55～ 16：55	実技	福祉自動車の特性	ヘルパーステーション ほほえみ 派遣講師
17：00～ 18：20		福祉自動車運転方法（演習）	
18：20～ 18：25	閉会	ま と め	

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 日 数 修 等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	18 人	18 人	18 人	46.0 才		1 日	9 時間
	11・7	100.0 %					

■ アンケート結果

全体評価	回答	研修全体 について	①	②	③	④	⑤
	(回収率)		全く その通り	どちらか と言うと その通り	どちらか とも言 えない	どちらか と言うと そうでない	全く そうでない
	18 件	満足 できたか?	11	6	0	0	0
	100.0 %						



主な意見	■ 普段の運転より、より安全な運転が必要だと感じた。
	■ 実際の事故の映像を見られたのは、勉強になった。
	■ 利用者のことを考えた運転が必要だと思った。
	■ 杖歩行の体験、補助の仕方は、すごく参考になった。
	■ 車いすに乗っての実車体験を行い、車内でのゆれの大きさに気づかされた。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ ドライブレコーダーの映像を見て、脇見運転や安全不確認等、ふとした不注意が事故につながることを再確認できた。
	■ 実際に視覚、身体障害での歩行を体験し、多くの配慮の必要性を理解できた。
	■ 車いすや杖を使ったり、福祉車両の操作や運転などの実技の経験は、今後の活動に大変役立つと、好評であった。

■ 研修風景

安全・安心運行と緊急時対応		基礎的な接遇技術	
運転方法		福祉自動車運転方法(演習)	

— 平成 29 年度 第 3 回 —

福祉有償運送運転協力者研修【セダン型】実施要領

- 1 目的** 道路運送法施行規則により、福祉有償運送で運転協力者として活動する場合には、国土交通大臣が認定する講習を修了することが必要となります。
このため、運転協力者となることを希望する方に対し、福祉有償運送運転に必要な知識・技術の習得を目的とします。
- 2 実施主体** 北九州市社会福祉協議会、北九州市（国自旅第262号認定）
- 3 日時・会場** 平成30年3月4日（日） 9：15～11：45
ウエルとばた12階H・I研修室（戸畑区汐井町1-6）
- 4 参加対象** 福祉有償運送実施団体の運転協力者となることを希望する方等
※ただし、第一種運転免許を有し、且つ、その効力が過去2年以内において停止されていない者であって、免許取得から3年以上の実車経験がある者
- 5 受講料** 市内福祉有償運送実施団体登録者（予定者）… 1,000円
上記以外の者 …………… 7,000円
- 6 定員** 30人（定員を超える申込があった場合は調整）

7 研修内容

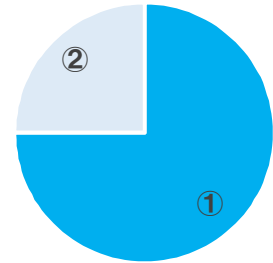
時間	内 容	講 師 等
9:00～	受 付	
9:15 ～9:20	開 会・オリエンテーション	北九州市社会福祉協議会
9:20 ～10:10	講 義 I 「利用者理解及び 乗降介助等の対応」	作業療法士 熊 添 潤 一
10:20 ～11:40	実 技 「利用者理解及び 乗降介助等の対応」	
11:40 ～11:45	閉 会	北九州市社会福祉協議会

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研日数 修等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	5 人	5 人	5 人	49.6 才		1 日	3 時間
	3・2	100.0 %					

■ アンケート結果

全体評価	回答	研修全体について	①	②	③	④	⑤
	(回収率)		全くその通り	どちらかと言うとその通り	どちらかとも言えない	どちらかと言うとそうでない	全くそうでない
	5 件	満足できたか?	3	1	0	0	0
	100.0 %						



主な意見	■ 講師が体を使い実演してくれるため、わかりやすかった。
	■ 身をもって体験し、多くを学べた。
	■ 実際に体験することで、普段では気づかない不便な所が、車両では多いのだと再認識できた。
	■ 利用者の心持ち等の理解へのきっかけとなった。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 体験型研修は効果が高く、今後も取り入れていきたい。
	■ セダン型は、福祉車両と比較して受講生が少なく、今後の開催方法等の改善・工夫、事業周知等が必要と思われる。
	■ 福祉有償運送業務に関わる、社協職員の受講等について再検討する。

■ 研修風景

【講義】利用者理解について		【実技】乗降介助等の対応②	
【実技】乗降介助等の対応①		閉会	

— 平成 29 年度 —

傾聴ボランティア養成講座 実施要領

- 1 趣 旨** 単に話を「聞く」のではなく、心をこめて「聴く」ことで、人の心を癒すことができます。
本講座では「聞き上手」から「聴き上手」になるためのコツを学び、相手の心に寄り添うことの出来るボランティア活動をめざします。
- 2 実施主体** 小倉北区・北九州市社会福祉協議会、北九州市
- 3 会 場** 小倉北区役所 503・504 会議室（小倉北区大手町1-1）
※駐車場の台数に限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。
- 4 対 象 者** 受講後の傾聴ボランティア活動に意欲的な方（定員30名）
※応募者多数の場合は抽選させていただきます。あらかじめご了承ください。
- 5 受 講 料** 700 円（研修初日にお渡しする納付書により、金融機関でお支払い下さい。）
- 6 日程・内容**

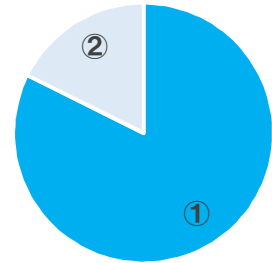
日 時		内 容	講師等	
8月1日 (火)	09:30~	受 付		
	09:45~	開 会・オリエンテーション	北九州市社会福祉協議会	
	10:00~ 10:15	事 業 紹 介 ボランティア活動について	小倉北区社会福祉協議会 ボランティア・市民活動センター	
	10:15~ 12:00	基 礎 編	臨床心理士 シャルマ 直美	
	12:00~			「 傾 聴 」 と は
	13:00~ 16:00			昼休み ロールプレイを通じて 傾聴体験してみよう
8月2日 (水)	09:30~ 12:00	応 用 編	臨床心理士 シャルマ 直美	
				話の内容を正確に受け止めよう 共 感 的 に 聴 こ う
	12:00~	昼休み		
	13:00~ 14:00	施設が求めるボランティアとは	デイサービスセンター都の杜 管理者 石 井 朱 實	
	14:00~	休 憩		
	14:15~ 15:45	傾聴ボランティア活動の実際 《活動発表》	傾聴ボランティアグループ 小倉北区社協ボランティア・市民活動センター	
~16:00	閉会	北九州市社会福祉協議会		

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研日数 修等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	41 人	36 人	70 人	63.3 才		2 日	13 時間
	5・36	87.8 %					

■ アンケート結果

全体評価	回答	研修全体について	①	②	③	④	⑤
	(回収率)		全くその通り	どちらかと言うとその通り	どちらとも言えない	どちらかと言うとそうでない	全くそうでない
	34 件 94.4 %	満足 できたか?	28	6	0	0	0



主な意見	■ 傾聴の本質は「寄り添うところ」とであると実感した。
	■ 人間関係が希薄になっている時代に傾聴の良さを再確認した。
	■ 傾聴ボランティアの役割や存在意義を認識できた。
	■ 実際の活動者の話が聞けてとてもよかった。
	■ 講師の人柄がとても親しみやすく引き込まれた。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 傾聴ボランティア活動者に研修のサポーターとして講座に関わってもらうことによって、受講生の関心が高まったので、今後も取り入れていきたい。
	■ 傾聴ボランティア活動団体の代表（4団体）が活動発表し、受講生と直接交流する機会を設定し、受講生の活動体験につながった。
	■ 座学と実践のバランスを検討する必要があると思われる。

■ 研修風景

シャルマ先生の講義		傾聴体験中!	
施設が求めるボランティアとは		ボランティア活動へ向けて	

— 平成 29 年度 —

私にもできる災害ボランティア入門講座 実施要領

- 1 趣 旨** 近年、各地で災害が頻発していますが、その復旧活動等において、大きな力となり、活躍しているのが災害ボランティアです。
 災害時の基礎知識や適切な対処活動に活かすことを目的とし、身近なところで災害が起きた時の役割・備え・心構えについて学び、地域で協力し支え合うことについて考えます。
 本講座では、まずさまざまな災害ボランティア活動をご紹介します。そして、その中から「私にもできる活動」を見つけてもらい、いざという時の活躍の準備をお手伝いします。
- 2 実施主体** 八幡東区・北九州市社会福祉協議会、北九州市
- 3 対象者** 災害ボランティアに興味のある市民の方、校(地)区社協において災害時福祉救援体制づくりに取り組む新任役員等及び災害時相互協力協定締結団体の新会員の皆さま等々 **【定員40名】**
- 4 会 場** レインボープラザ 7階71会議室 (八幡東区中央2-1-1)
- 5 研修日程** 平成29年8月19日(土) 13:00~16:30
- 6 参加費** 無料
- 7 研修内容**

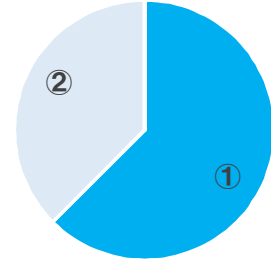
時 間	内 容	講 師 等
12:30~	受 付	
13:00 ~13:10	開 会・オリエンテーション	北九州市社会福祉協議会
13:10 ~13:50	講義1 知って安心、災害への備え	北九州市 危機管理室
13:50 ~14:30	講義2 災害ボランティア活動の 基本知識	北九州市社会福祉協議会 ボランティア・市民活動センター 活動推進課
14:30 ~14:45	休 憩	
14:45 ~16:20	講義3 助け上手と助けられ上手 ~災害ボランティア活動における 支援力と受援力~ ~今後の活動について: ボランティア登録等~	北九州市社会福祉協議会 ボランティア・市民活動センター 活動推進課
~16:30	閉 会	北九州市社会福祉協議会

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研日数	修等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)					延	延
	34人	33人	33人	—才			1日	4時間
	17・17	97.1%						

■ アンケート結果

全体評価	回答 (回収率)	研修全体 について	①	②	③	④	⑤
			全く その通り	どちらか と言うと その通り	どちらか とも言 えない	どちらか と言うと そうでない	全く そうでない
	32件 97.0%	満足 できたか?	20	12	0	0	0



主な意見

- 入門講座として分かり易い内容であった。学生にもこのような内容を知ってほしい。ボランティアの心づもりや被災時に自分が何をすべきか考えるきっかけになった。
- 北九州市の災害対策について聴講できた。自分自身でできることを考えたいと思った。今回の受講内容を今後の活動に活かしていきたい。

■ 事業点検

点検・講評
(今後の取り組み)

- 今回の研修で、14名が災害ボランティアの登録に至った。次年度も登録者を増やしていきたい。
- 平成29年7月九州北部豪雨の現状を知ることができ、有意義だったと受講生より、アンケートでも大変好評だった。
- 災害時相互協力協定団体から7名、八幡東区社協から14名の参加があった。

■ 研修風景



— 平成 29 年度 —

送迎ボランティア・フォローアップ研修(実技) 実施要領

- 1 趣 旨** 福祉有償運送事業等において活躍している送迎ボランティアを対象に、今後も安全で利用者が安心できる送迎活動を継続できるよう、活動者のスキルアップを目指します。
- 2 実施主体** 北九州市社会福祉協議会、北九州市
- 3 共 催** 各区社会福祉協議会
- 4 会 場** 城野自動車学校（小倉北区霧ヶ丘1-15-1）
- 5 対 象 者** 送迎ボランティア活動者 30名
- 6 受講料** 700円
- 7 日時・内容** 平成29年10月28日（土）

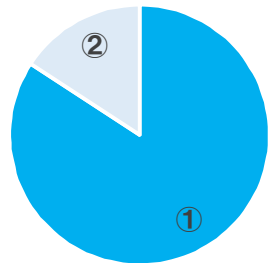
時 間	内 容	講 師 等
09:45 ～10:00	開 会・オリエンテーション	北九州市社会福祉協議会 ボランティア・市民活動センター
10:00 ～11:45	【講義・実技】 「より安心・安全運転のために」 ～運転行動の変化について～ 「車いすの取扱いについて」 【実 技】 「運転チェック及びアドバイス」 ～福祉車両用コース～	城野自動車学校
11:45 ～12:00	【全体講評】	
12:00 ～13:00	休 憩	
13:00 ～14:45	【講 義】 「利用者の特性を学ぶ」	作業療法士 熊添 潤一
～15:00	閉 会	北九州市社会福祉協議会 ボランティア・市民活動センター

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研日数 修等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	20 人	19 人	19 人	— 才		1 日	5 時間
	18・2	95.0 %					

■ アンケート結果

全体評価	回答	研修全体 について	①	②	③	④	⑤
	(回収率)		全く その通り	どちらか と言うと その通り	どちらか とも言 えない	どちらか と言うと そうでない	全く そうでない
	19 件 100 %	満足 できたか?	16	3	0	0	0



主な意見	■ 動体視力の実力、認知機能の把握ができた。
	■ 日頃の運転ぐせ等を再認識でき、非常に有意義だった。
	■ 運動免許証を取った時のことを思い出した。初心に帰り運転していきたい。
	■ 指導された事項を送迎ボランティアに活かしたい。
	■ 「利用者の特性を学ぶ」の講義は、高齢の母を持っており大変参考になった。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 体験型の研修と教官の講評により、研修効果が高まる。
	■ 日頃の運転技術を再確認することにより、今後の活動に繋がると思われる。
	■ 「時間が長すぎる。午前か午後の半日にしてほしい。」との意見があった。今後の開催方法等改善や工夫が必要と思われる。

■ 研修風景

開講挨拶		「より安心・安全運転のために」	
「運転チェック及びアドバイス」		「利用者の特性を学ぶ」	

— 平成 29 年度 —

送迎ボランティア・フォローアップ研修 実施要領 (座学)

- 1 趣 旨** 虚弱高齢者の外出支援などを目的にスタートした「シルバーひまわりサービス事業」も開始 22 年目を迎え、昨年度は、1128 人のボランティアが 989 人の高齢者を支える市民にとって大切な事業に成長しました。
- 一方、道路交通法の改正により、福祉有償運送サービスに対する安全運行への指導も厳格さを増し、併せて、運転者等の担い手不足など、多くの課題も出て参りました。
- 本研修では、これらの現状や課題を送迎ボランティアの皆さんと共有する中で、更なる安全運行に資する研修として開催するものです。
- 2 実施主体** 北九州市社会福祉協議会、北九州市
- 3 共 催** 各区社会福祉協議会
- 4 開催会場** ウェルとばた 12階 H・I 研修室 (戸畑区汐井町1-6)
- 5 対象者** 送迎ボランティア活動者及び登録者 【定員 40 名】
- 6 日時・内容** 第1回 平成 29 年 9 月 9 日 (土)
第2回 平成 29 年 10 月 20 日 (金) ⇒ボランティア週間で実施
※上記開催日のうち、ご都合の良い日に受講いただきます。

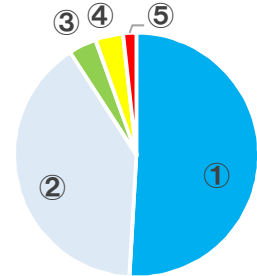
時間	プログラム	講師等
12:30~	受付	
13:00 ~13:10	開会・オリエンテーション	北九州市社会福祉協議会 ボランティア・市民活動センター
13:10 ~14:10	講義 「送迎ボランティア活動の現状と課題」 「安心・安全運行に心がける送迎事業」 「送迎 VO から誕生した新たな活動」 「活躍するボランティア活動いろいろ」	北九州市社会福祉協議会 ボランティア・市民活動センター
14:10 ~14:30	休憩	
14:30 ~15:20	講義 「車内を明るく楽しく元気にする方法」	北九州市社会福祉協議会 ボランティア・市民活動センター
~15:30	閉会	北九州市社会福祉協議会 ボランティア・市民活動センター

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研日数 修等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	65 人	58 人	58 人	— 才		2 日	5 時間
	45・20	89.2 %					

■ アンケート結果

全体評価	回答	研修全体 について	①	②	③	④	⑤
	(回収率)		全く その通り	どちらか と言うと その通り	どちらか とも言 えない	どちらか と言うと そうでない	全く そうでない
	55 件 94.8 %	満足 できたか?	28	22	2	2	0



主な意見	■ 活動意義の再確認、知識の補強ができてよかった。
	■ 危険予知トレーニングの映像が非常に参考になった。
	■ グループワークは、参加者同士で意見の共有ができたので、非常に良かった。
	■ 参加しやすくするために、開催日程を多くしてほしい。
	■ ヒヤリハットや様々な意見のフィードバックで意識が高まると思う。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 送迎ボランティアの活動意義や、危険予知の映像を用いた講義は、日頃の活動を再確認する効果があり、今後の活動に繋がると思われる。
	■ グループワークは、活動者の意見を共有することができたので、今後も取り入れていきたい。
	■ 送迎ボランティアの高齢化に合わせての改善や工夫が必要だと思われる。

■ 研修風景

開講挨拶		安心・安全運行に心がける送迎事業	
意見交換		質疑応答	

— 平成 29 年度 —

傾聴ボランティア・フォローアップ研修 開催要領

- 1 目的** 傾聴ボランティアとしてのスキルアップを図るとともに、活動者の抱える課題や疑問を解消するために、ワークを交えて学びます。
また、活動者同士の交流を通して今後のボランティア活動の活性化を目指します。
- 2 実施主体** 北九州市社会福祉協議会、北九州市
- 3 受講対象** 傾聴ボランティア活動者 30名
- 4 研修会場** ウェルとばた 12階H・I研修室（戸畑区汐井町1-6）
- 5 研修日時** 平成29年5月17日（水）10：00～12：00
- 6 受講料** 700円（研修日にお渡しする納付書により、後日、金融機関でお支払い下さい。）

7 研修内容

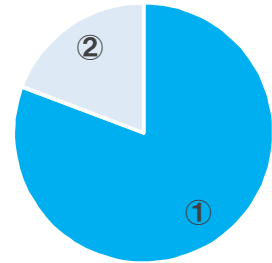
時間	内容	講師等
9：30～	受付	
10：00 ～10：10	開会 オリエンテーション	
10：10 ～10：20	ボランティア・市民活動センター の役割と機能	北九州市社会福祉協議会 ボランティア・市民活動センター
10：20 ～11：55	講義・ワーク 「あなたのお話聞かせてください」 ～傾聴力を高め、より良い活動へ～	北九州市ひきこもり地域支援センター「すてっぷ」 理事 和田 修
～12：00	閉会	北九州市社会福祉協議会 ボランティア・市民活動センター

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 日 数 修 等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	41 人 7・34	38 人 92.7%	38 人	65.9 才		1 日	2 時間

■ アンケート結果

全体評価	回答 (回数)	研修全体 について 満足 できたか?	①	②	③	④	⑤
			全く その通り	どちらか と言うと その通り	どちらか とも言 えない	どちらか と言うと そうでない	全く そうでない
	36 件 94.7%		29	4	0	0	0



主な意見	■ ボランティア支援の内容がよくわかった。
	■ 話を引き出す方法を教えていただき勉強になった。
	■ 外面性と内面性の話が興味深かった。
	■ パーソナルスペースの大切さがよくわかった。
	■ 相手との関わり方を具体的に話していただき良かった。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 講師の親しみやすい話し方や経験に基づく講話は、受講生を引きつけていた。
	■ ロールプレイを取り入れることにより、より実践的な研修内容となった。
	■ 毎年受講される方がおり、繰り返し受講する大切さを実感させられた。
	■ 傾聴ボランティア団体の方だけでなく、民生委員として地域活動に携わっている方の参加があり、今後も参加を促していきたい。

■ 研修風景

ユーモアのある関会挨拶		実演を交える和田先生	
パーソナルスペースの体験		傾聴技法を磨く「ロールプレイ」	

— 平成 29 年度 —

災害ボランティア・フォローアップ研修 実施要領

- 1 趣 旨** 近年の災害時においては、ボランティアが重要な役割を果たすとともに、被災地災害ボランティアセンターの設置により、円滑なボランティア活動が果たせるようになりました。
今回の研修では、最新の災害ボランティア活動状況等を学ぶとともに、災害ボランティアセンターの機能等を再確認する中で、ボランティアとしての資質向上を図ります。また学びの場を通じて、活動へのモチベーションを高め、災害時に備えて参ります。
- 2 実施主体** 門司区・北九州市社会福祉協議会、北九州市
- 3 受講対象** 「私にもできる災害ボランティア入門講座」受講生及び災害ボランティア活動経験者等 30 名（申込多数の場合は、抽選させていただきます。）
- 4 研修会場** 旧大連航路上屋 多目的室 B（門司区西海岸 1-3-5）
- 5 研修日時** 平成 29 年 9 月 8 日（金） 10:00～15:00
- 6 参加費** 無料
- 7 研修内容**

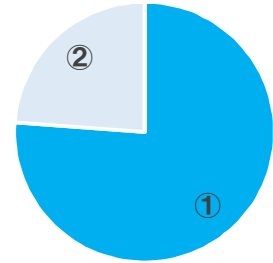
時間	内 容	講 師 等
09:30～	受 付	
10:00～	開 会	門司区社会福祉協議会
	オリエンテーション	北九州市社会福祉協議会
10:15～ 11:00	講 義 1 「北九州市の地域防災計画における ボランティアや地域住民のかかわり」	北九州市 危機管理室 危機管理課 防災企画係 主 査 平 井 武
11:00～ 11:45	講 義 2 「災害ボランティアへの期待」 ～地域福祉活動者や企業・団体などの役割・機能～	一般社団法人 九州防災パートナーズ 代表理事 藤 澤 健 児
11:45～	昼 休 み	
12:40～ 13:20	講 義 3 「大規模災害時における ボランティア活動の現状と課題」	一般社団法人 九州防災パートナーズ 代表理事 藤 澤 健 児
13:20～ 14:40	意見交換 「受講者それぞれの立場で 要支援者をどう支えるのか話し合おう！」	
14:40～ 15:00	ま と め 「区域災害時のボランティア活動を踏まえて」	門司区社会福祉協議会 事務局長 小 田 光 江
	閉 会	北九州市社会福祉協議会

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研日数	修等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)					延	延
	27 人	26 人	26 人	— 才			1 日	5 時間
	18・9	96.3 %						

■ アンケート結果

全体評価	回答 (回収率)	研修全体 について 満足 できたか?	①	②	③	④	⑤
			全く その通り	どちらか と言うと その通り	どちらか とも言 えない	どちらか と言うと そうでない	全く そうでない
	25 件 96.2 %		16	5	0	0	0



主な意見	■ 災害ボランティアは、どんな地域でも必要だと思った。今日研修で学んだことを地域で話し合わなければならなかった。
	■ 現地で活動されている講師の話が聞けてよかった。また、市の災害想定、防災関連の情報を聞くことができてよかった。
	■ 毎回参加しているので、情報収集でき、勉強になる。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 今年度から各区で開催されることとなり、29年度は門司区で開催された。H29 九州北部豪雨の被災地である朝倉市や東峰村の現状や、ボランティア活動について学ぶ内容の講義となった。また、演習では活発に意見交換が行われた。
	参加者が少なかった。来年度以降は、開催区に更なる協力を要請し、社協関係者だけでなく自治会や企業への周知を強化し、参加者を増加させたい。

■ 研修風景

講義 危機管理室		災害ボランティアへの期待	
意見交換・各班発表		まとめ	

— 平成 29 年度 —

ボランティアリーダー研修 実施要領

～ ボランティアリーダーのメンタルケア「楽しさとやる気の心理学」～

- 1 趣 旨** グループの運営のあり方やリーダーとしての役割を学ぶことで、ボランティアリーダーとしての資質向上と次期リーダーの育成等について考える研修です。
今年度は、ボランティアの実態やボランティアグループとの関係についての情報収集やリーダーとしての在り方など、心理学を通して学びます。
- 2 実施主体** 若松区・北九州市社会福祉協議会、北九州市
- 3 会 場** 若松区役所 4F 指導室2（若松区浜町1-1-1）
- 4 対 象 者** ボランティアグループの代表・副代表等の役員【定員30名】
（申込多数の場合は、抽選させて頂く場合もございます。）
- 5 受 講 料** 700円
- 6 日時・内容** 平成29年10月19日（木）

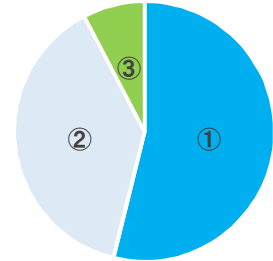
時間	内 容	講 師 等
09:30 ～	受 付	
10:00 ～	開会・オリエンテーション	北九州市社会福祉協議会
10:10 ～ 11:00	「地域包括ケアシステムと ボランティアの関わり」	若松区役所 保健福祉課 統括支援センター 係 長 池田 承子
11:00 ～	「ボランティアコーディネーターと ボランティアグループの関係」	北九州市社会福祉協議会
11:00 ～ 12:00	「ボランティアリーダーのメンタルケア … 楽しさとやる気の心理学」	北九州市立大学 名誉教授 臨床心理士 中島 俊介
12:00 ～	昼 休	
13:00 ～ 15:50	演 習 「対話力と協力原理を学ぶ」	北九州市立大学 名誉教授 臨床心理士 中島 俊介
～ 16:00	閉 会	北九州市社会福祉協議会

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研日数	修等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)					延	延
	17人	18人	18人	—才			1日	6時間
	5・12	105.9%						

■ アンケート結果

全体評価	回答 (回収率)	研修全体 について 満足 できたか?	①	②	③	④	⑤
			全く その通り	どちらか と言うと その通り	どちらか とも言 えない	どちらか と言うと そうでない	全く そうでない
	14 件 77.8%		7	5	1	0	0



主な意見	■ 貴重な話を聞いてよかった。楽しく勉強させていただき、あっという間に時間がたった。今後の活動に役立てるよう努力したい。
	■ 初めてリーダー研修に参加した。日頃から心掛けていることを改めて認識できた。帰ったらもう一度資料をゆっくりと読もうと思う。
	■ 有意義だった。これからも楽しくボランティアに参加していきたい。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 全講義を通じて、ボランティアへの期待や役割、ボランティアリーダーとしての心構えなどが学べたと思う。
	またワークでは、心理学をとおしてリーダーとしてグループをまとめるために必要なことを各参加者に感じ取ってもらえたと思う。
	来年度は、更に参加者が増えるよう、区社協と連携して取り組みたい。

■ 研修風景

地域包括ケアシステムとボランティアの関わり		情報提供	
講義		演習	

— 平成 29 年度 —

ボランティアリーダー研修 実施要領

～ ボランティアリーダーのメンタルケア「楽しさとやる気の心理学」～

- 1 趣 旨** グループの運営のあり方やリーダーとしての役割を学ぶことで、ボランティアリーダーとしての資質向上と次期リーダーの育成等について考える研修です。
今年度は、ボランティアの実態やボランティアグループとの関係についての情報収集やリーダーとしての在り方など、心理学を通して学びます。
- 2 実施主体** 八幡西区・北九州市社会福祉協議会、北九州市
- 3 会 場** 八幡西区役所 6 F 602 会議室
(八幡西区黒崎 3-15-3 コムシティ)
- 4 対 象 者** ボランティアグループの代表・副代表等の役員【定員 30 名】
(申込多数の場合は、抽選させて頂く場合もございます。)
- 5 受 講 料** 700 円
- 6 日時・内容** 平成 29 年 10 月 26 日 (木)

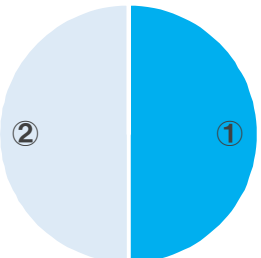
時間	内 容	講 師 等
09:30 ～	受 付	
10:00 ～	開会・オリエンテーション	北九州市社会福祉協議会
10:10 ～	「地域包括ケアシステムと ボランティアの関わり」	八幡西区役所 保健福祉課 統括支援センター 係 長 本 田 千 絵
11:00	「ボランティアコーディネーターと ボランティアグループの関係」	北九州市社会福祉協議会
11:00 ～ 12:00	「ボランティアリーダーのメンタルケア … 楽しさとやる気の心理学」	北九州市立大学 名誉教授 臨床心理士 中 島 俊 介
12:00 ～	昼 休	
13:00 ～ 15:50	演 習 「対話力と協力原理を学ぶ」	北九州市立大学 名誉教授 臨床心理士 中 島 俊 介
～ 16:00	閉 会	北九州市社会福祉協議会

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研日数 修等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	17人 9・8	17人 100%				17人	1日

■ アンケート結果

全体評価	回答 (回収率)	研修全体 について	①	②	③	④	⑤
			全く その通り	どちらか と言うと その通り	どちらとも 言えない	どちらか と言うと そうでない	全く そうでない
	16件 94.1%	満足 できたか?	7	7	0	0	0



主な意見

- 講義は大変楽しく、時間が経つのが早かった。リーダーとしての心構えはとても難しく悩むこともあるが、中島先生の講義を聞いて頑張っていこうと思った。
- 楽しい研修で、やる気がでた。演習では、人の話を引き出すことや自分の考えを広げてまとめることが難しかった。
- 現状とボランティアの初心再確認の講座だった。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 全講義を通じて、ボランティアへの期待や役割、ボランティアリーダーとしての心構えなどが学べたと思う。楽しいだけの講座ではなく、参加者一人一人が今後の活動のための情報を習得できたのではと思われる。
	■ 長時間の研修だったが、受講生の心を引きつける内容の講義や演習であり、あきさせない内容で満足度が高かった。

■ 研修風景

地域包括ケアシステムとボランティアの関係		情報提供	
講義		演習	



— 平成 29 年度 —

新任福祉協力員等研修 実施要領

- 1 目的** 社会福祉協議会では、校区社会福祉協議会が実施する「ふれあいネットワーク活動推進事業」を基本に、地域住民が主体となり“みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり”を進めています。
この研修会では、新たに福祉協力員等に就任された皆さんが、無理なく有意義な活動を行っていただくために、これからの活動に必要な知識や技能を習得してもらうことを目的に開催します。
- 2 実施主体** 門司区・北九州市社会福祉協議会、北九州市
- 3 受講対象** 新任の福祉協力員など
- 4 研修会場** 旧大連航路上屋 多目的室 B （門司区西海岸 1 - 3 - 5）
- 5 研修日時** 平成 29 年 6 月 28 日（水） 13 : 30 ~ 15 : 30
- 6 参加費** 無 料
- 7 研修内容**

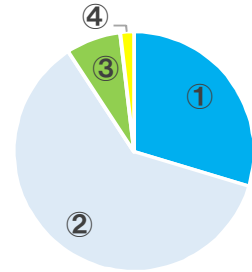
時 間	内 容	講 師 等
13 : 00 ~	受 付	
13 : 30 ~	開 会	門司区社会福祉協議会 会 長 宮 原 深 海
13 : 40 ~ 14 : 40	地域福祉活動の要 「社会福祉協議会活動」と 社協活動の基盤 「ふれあいネットワーク活動」	門司区社会福祉協議会 主 事 久 留 島 一 暢
14 : 40 ~ 15 : 00	ふれあいネットワーク活動を通じた健康への取り組み 「要支援者・活動者自身の健康づくり」(健康マイレージ事業)	
15 : 00 ~ 15 : 30	先輩福祉協力員からの活動発表 「私のふれあいネットワーク活動」	藤松校区社会福祉協議会 福祉協力員 川 北 節 子
~ 15 : 30	閉 会	門司区社会福祉協議会 事務局 長 小 田 光 江

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 日 数 修 等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	60 人	59 人	59 人	— 才		1 日	2 時間
	9・51	98.3 %					

■ アンケート結果

全体評価	回答 (回収率)	研修全体 について	①	②	③	④	⑤
			全く その通り	どちらか と言うと その通り	どちらか とも言 えない	どちらか と言うと そうでない	全く そうでない
	56 件 94.9 %	満足 できたか?	16	33	4	1	0



主な意見	■ 楽しく福祉協力員の活動をしていくことが良いことがわかった。
	■ 福祉協力員の仕事にやりがいを持ってつとめる大切さを感じた。
	■ ふれあいネットワークの仕組み（見守り、助け合い、話し合い）を意識していきたい。
	■ 高齢社会で安心して生活ができるよう見守っていきたい。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 具体的事例を取り上げた実践発表は、研修効果が高まる。
	■ 新任福祉協力員が活動する際の不安を解消できる講義内容も大切だと感じた。
	■ 先輩福祉協力員に経験ややりがいをお話いただくことで今後の活動の意欲につながる。

■ 研修風景

ふれあいネットワーク説明①		先輩福祉協力員の活動発表	
ふれあいネットワーク説明②		生涯を通じた健康づくり	



— 平成 29 年度 —

新任福祉協力員等研修 実施要領

- 1 趣 旨** 社会福祉協議会では、各校(地)区社会福祉協議会が実施する「ふれあいネットワーク活動推進事業」を基本に、地域住民が主体となり“みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり”を進めています。
この研修会では、新たに福祉協力員等に就任された皆さんが、無理なく有意義な活動を行っていただくために、これからの活動に必要な知識や技能を習得してもらうことを目的に開催します。
- 2 実施主体** 小倉北区・北九州市社会福祉協議会、北九州市
- 3 受講対象** 新任福祉協力員など
- 4 研修会場** ムーブ5階大セミナー室（小倉北区大手町11-4）
- 5 実施日時** 平成29年8月23日（水）13：30～15：30
- 6 参加費** 無料
- 7 研修内容**

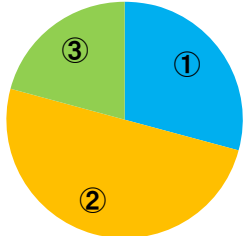
時 間	内 容	講師等
13：00	受 付	
13:30 ～13:40	開会・オリエンテーション	北九州市社会福祉協議会 小倉北区社会福祉協議会
13:40 ～14:10	住民が主役の地域づくり 「社会福祉協議会活動」と 「ふれあいネットワーク活動」	北九州市社会福祉協議会 事務局長 小池 昭
14:10 ～14:30	地域づくりは健康から！ (健康マイレージ対象)	北九州市社会福祉協議会 地域福祉部 生活福祉課
14：30 ～15：20	北九州市の地域支援施策 「いのちをつなぐネットワーク事業」	小倉北区役所保健福祉課 いのちをつなぐネットワーク係 担当係長 城元 克暢
～15：30	閉 会	小倉北区社会福祉協議会

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研日数 修等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	24 人	25 人	25 人	— 才		1 日	2 時間
	5・19	104.2 %					

■ アンケート結果

全体評価	回答	研修全体 について	①	②	③	④	⑤
	(回収率)		全く その通り	どちらか 言うと その通り	どちらか も 言えない	どちらか と 言う と そうでない	全く そうでない
	24 件 96.0 %	満足 できたか?	7	12	5	0	0



主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ■ 受講することで、活動に責任を感じた。地域で皆様と共に、「見つける・つなげる・見守る」を実践していきたい。 ■ 福祉協力員としての役割や活動内容が理解できた。 ■ 市の支援体制について知ることができてよかった。 ■ 地域が熱心に取り組んでいるので、お手伝いをし、お役に立ちたいと思った。
------	---

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 講義内容は好評であった。福祉協力員としての心構えや役割などについて理解することができたと思う。また、健康マイレージの体操や休憩を入れたことで、全体的にバランスがとれ、あきさせない内容のプログラムになった。
--------------------	--

■ 研修風景

開会挨拶		地域づくりは健康から	
住民が主役の地域づくり		いのちをつなぐネットワーク事業	

— 平成 29 年度 —

新任福祉協力員等研修会 実施要領

《集合研修》

1 趣 旨

社会福祉協議会では、地域住民が主体の「ふれあいネットワーク活動」を中心に“みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり”を進めています。

この研修会では、活動の担い手である福祉協力員等に新たに就任された皆さんが、有意義な活動を行っていただくために、これからの活動に必要な知識や技能を習得してもらうことを目的に開催します。



2 実施主体

小倉南区・北九州市社会福祉協議会、北九州市

3 研修日程

西部地区：平成29年6月 3日（土）13：00～15：40

東部地区：平成29年6月17日（土）13：00～15：40

4 会 場

西部地区：北九州市立若園市民センター（小倉南区若園4-1-50）

東部地区：北九州市立曾根市民センター（小倉南区中曾根3-9-7）

5 対 象 者

新任の福祉協力員など

6 研修内容

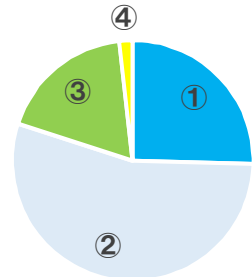
時 間	内 容	講 師 等
12:30～	受 付	
13:00 ～13:10	開 会・オリエンテーション	小倉南区社会福祉協議会
13:10 ～13:40	演劇 ～劇から学ぶ社会福祉協議会活動～ 「あしたの幸せ」	ふくし劇団「こくら南プチボ」
13:45 ～14:40	事業説明 「社会福祉協議会の活動と ふれあいネットワーク活動について」	小倉南区社会福祉協議会
14:40 ～14:50	事業説明 「生涯を通じた健康づくり」 ～健康マイレージについて～	小倉南区社会福祉協議会
14:50 ～15:15	事業説明 「いのちをつなぐネットワーク について」	小倉南区役所 保健福祉課 いのちをつなぐネットワーク係長 大 浦 隆
15:15 ～15:25	質疑応答	小倉南区社会福祉協議会
～15:40	閉 会	北九州市社会福祉協議会

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 日 数 修 等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)					
	109 人	100 人	100 人	— 才		2 日	5 時間

■ アンケート結果

全体評価	回答	研修全体 について	①	②	③	④	⑤
	(回収率)		全く その通り	どちらか 言うと その通り	どちらとも 言えない	どちらか 言うと そうでない	全く そうでない
	87 件 87.0 %	満足 できたか?	31	47	7	1	0



主な意見	■ 地域で支え合うことの大切さがよくわかった。その風土づくりをしていかなければならないと思った。
	■ 福祉協力員の見守りで、ひとりでも多くの高齢者が幸せを感じていただけたら、このボランティアのやりがいを感じる。
	■ 見守り・助け合い・話し合い。協力して住みよいまちに。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 演劇のテーマがどこの家庭にでも起こりうるものであったため、身近に感じた受講生が多かったようだ。
	■ 講師自身の体験談を交えた講話は、受講生の活動の参考になったようだった。

■ 研修風景

築別会長開講挨拶		ふくし劇団こくら南ブチポ	
ふれあいネットワーク説明		生涯を通じた健康づくり	



新任福祉協力員等研修 実施要領

- 1 目的** 社会福祉協議会では、校(地)区社会福祉協議会が実施する「ふれあいネットワーク活動推進事業」を基本に、地域住民が主体となり“みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり”を進めています。
この研修会では、新たに福祉協力員等に就任された皆さんが、無理なく有意義な活動を行っていただくために、これからの活動に必要な基礎知識や技能を習得してもらうことを目的に開催します。
- 2 実施主体** 若松区・北九州市社会福祉協議会、北九州市
- 3 受講対象** 新任の福祉協力員など
- 4 研修会場** 若松区役所 3階 特別会議室 (若松区浜町1-1-1)
- 5 研修日時** 平成29年7月14日(金)
- 6 参加費** 無料
- 7 研修内容**

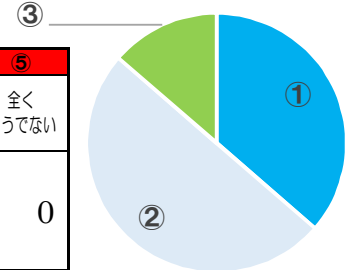
時間	内容	講師等
12:30~	受付	
13:00~ 13:10	開会	若松区社会福祉協議会 会長 添田 重幸
	オリエンテーション	若松区社会福祉協議会
13:10~ 13:40	地域福祉活動の要 「社会福祉協議会活動」	若松区社会福祉協議会 事務局長 木下 義憲
13:40~ 14:00	要支援者・活動者自身の健康づくり (健康マイレージ対象)	
14:00~ 14:10	休憩	
14:10~ 15:00	社協活動の基盤 「ふれあいネットワーク活動」	若松区社会福祉協議会 主事 村田 健吾
15:00~ 15:30	「いのちをつなぐネットワーク事業等」	若松区役所 保健福祉課 いのちをつなぐネットワーク係 担当係長 池田 英彦 江尻 誠司
~15:30	閉会	若松区社会福祉協議会

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 日 数	修 等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)					延	延
	22 人	25 人	25 人	— 才			1 日	3 時間
	5・17	113.6 %						

■ アンケート結果

全体評価	回答 (回収率)	研修全体 について 満足 できたか?	①	②	③	④	⑤
			全く その通り	どちらか と言うと その通り	どちらか とも言 えない	どちらか と言うと そうでない	全く そうでない
	22 件 88 %		8	11	3	0	0



主な意見	■ 高齢者の現状を知り、改めて福祉の重要性を痛感した。
	■ 勉強したことを生かし、活動の幅を広げていきたい。
	■ いのちのネットワークという安心できる窓口があることがわかった。
	■ 初めての活動。わかりやすい説明で、よく理解できた。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 社協の事業説明より、活動に役立つヒントを持ち帰ってもらえた。
	■ 講義中に体を動かす時間もあり、参加者から好評を得られた。
	■ いのちをつなぐネットワークの存在と役割について理解してもらえた。
	■ それぞれの参加者が今後の活動に目標が持てたようだった。

■ 研修風景

社会福祉協議会活動		要支援者・活動者自身の健康づくり	
ふれあいネットワーク活動		いのちをつなぐネットワーク事業等	

— 平成 29 年度 —



新任福祉協力員等合同研修 実施要領

- 1 趣 旨** 社会福祉協議会では、地区社会福祉協議会が実施する「ふれあいネットワーク活動推進事業」を基本に、地域住民が主体となり“みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり”を進めています。
この研修会では、新たに福祉協力員等に就任された皆さんが、無理なく有意義な活動を行っていただくために、これからの活動に必要な知識や技能を習得してもらうことを目的に開催します。
- 2 実施主体** 八幡東区・北九州市社会福祉協議会、北九州市
- 3 受講対象** 新任の福祉協力員など
- 4 研修会場** レインボープラザ 7階71会議室（八幡東区中央2-1-1）
- 5 参加費** 無料
- 6 日時・内容** 平成29年6月17日（土）13：00～15：30

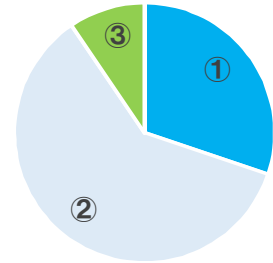
時 間	内 容	講 師 等
12：30～	受 付	
13：00～	開 会	八幡東区社会福祉協議会 会 長 半田 康行
13：10	オリエンテーション	八幡東区社会福祉協議会
13：10～	地域福祉活動の要 「社会福祉協議会活動」	八幡東区社会福祉協議会 事務局長 福島慎太郎
13：30～	社協活動の基盤 「ふれあいネットワーク活動」	八幡東区社会福祉協議会 主 事 梶原 吉恵
14：00～	休 憩	
14：10～	要支援者・活動者自身の健康づくり （健康マイレージ対象）	北九州市社会福祉協議会 生活福祉課
14：30～	行政施策「ふれあいネットワーク活動の支援について」 ～いのちをつなぐネットワーク事業について～	八幡東区保健福祉課 いのちをつなぐネットワーク担当係長 平野 謙太
15：00～	行政施策「ふれあいネットワーク活動の支援について」 ～地域包括支援センターについて～	八幡東区保健福祉課 地域包括支援センター 担当係長 上田 初子
～15：30	閉 会	北九州市社会福祉協議会 研修課長 松田 一喜

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研日数 修等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	73 人	73 人	73 人	— 才		1 日	3 時間
	—・—	100.0 %					

■ アンケート結果

全体評価	回答 (回収率)	研修全体 について 満足 できたか?	①	②	③	④	⑤
			全く その通り	どちらか と言うと その通り	どちらか も 言えない	どちらか と言うと そうでない	全く そうでない
	67 件 91.8 %		19	38	6	0	0



主な意見	■ 福祉協力員の課題がわかった。
	■ 一人暮らし高齢者等を地域でいかに支えていくかが重要だと思った。
	■ 地域での人とのつながりが大切ということがよくわかった。
	■ 何か問題が起きた時等につなぐ連絡先がわかりよかった。
	■ 講義の中に具体例の紹介があったので理解しやすかった。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 具体的事例を取り上げた実践発表は、研修効果が高まる。
	■ 具体性ある講話内容等、講師陣等との事前協議を十分に行いたい。
	■ 福祉協力員の視点で講義をすることが大切だと感じた。
	■

■ 研修風景

半田会長の開講挨拶		ふれあいネットワーク説明	
行政施策を学ぶ		健康づくりは活動者から！	



— 平成 29 年度 —

新任福祉協力員等研修 実施要領

- 1 趣 旨** 社会福祉協議会では、校(地)区社会福祉協議会が実施する「ふれあいネットワーク活動推進事業」を基本に、地域住民が主体となり“みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり”を進めています。
この研修会では、新たに福祉協力員等に就任された皆さんが、無理なく有意義な活動を行っていただくために、これからの活動に必要な知識や技能を習得してもらうことを目的に開催します。
- 2 実施主体** 八幡西区・北九州市社会福祉協議会、北九州市
- 3 受講対象** 新任の福祉協力員など
- 4 研修会場** 北九州市立八幡西生涯学習総合センター 大会議室
(八幡西区黒崎3-15-3 コムシティ3階)
- 5 参加費** 無 料
- 6 日時・内容** 平成29年7月8日(土)

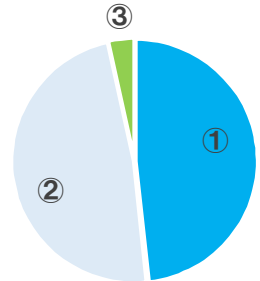
時 間	内 容	講 師 等
12:30~	受 付	
13:00 ~13:05	開 会	八幡西区社会福祉協議会 会 長 奥 尾 一 雄
13:05 ~13:10	オリエンテーション	
13:10 ~14:00	「社会福祉協議会活動と ふれあいネットワーク活動推進事業」	八幡西区社会福祉協議会 主 事 前 田 純 志
14:00 ~14:10	休 憩	
14:10 ~14:30	地域づくりは健康づくりから！（健康マイレージ対象）	
14:30 ~15:30	「福祉協力員としての心構え」	八幡西区社会福祉協議会 副会長 太 田 康 子
~15:35	閉 会	八幡西区社会福祉協議会 事務局 長 公 文 真 理 亜

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研日数 修等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	121 人 33・88	106 人 87.6%	106 人	— 才		1 日	3 時間

■ アンケート結果

全体評価	回答 (回収率)	研修全体 について 満足 できたか?	①	②	③	④	⑤
			全く その通り	どちらか と言うと その通り	どちらか とも言 えない	どちらか と言うと そうでない	全く そうでない
	91 件 85.8%		42	42	3	0	0



主な意見	■ 今回の研修を通して、チームワークづくりが大切であると感じた。
	■ 地域活動を中心に安心して支え合うボランティア活動が大事だと理解した。
	■ 福祉協力員としての自覚の大切さを痛感した。
	■ 一歩踏み込んだ内容で大変参考になった。
	■ 自分だけでなく他地区も同じ課題を抱えていることがわかった。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 受講生は学ぶ意欲が高く、その期待に応えられる研修内容としたい。
	■ 自己紹介カード等ツールの使用により、コミュニケーション力が高まる。
	■ 健康体操の実践は、研修会場を一体化させることを学んだ。
	■ 具体的事例を取り上げた実践発表は、研修効果が高まる。

■ 研修風景

奥尾会長の開会挨拶		社協活動とふれあいネットワークを基盤として	
地域づくりは健康づくりから！		自己紹介で仲間づくり！	



— 平成 29 年度 — 新任福祉協力員等研修 実施要領

- 1 趣 旨** 社会福祉協議会では、校(地)区社会福祉協議会が実施する「ふれあいネットワーク活動推進事業」を基本に、地域住民が主体となり“みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり”を進めています。
この研修会では、新たに福祉協力員等に就任された皆さんが、無理なく有意義な活動を行っていただくために、これからの活動に必要な知識や技能を習得してもらうことを目的に開催します。
- 2 実施主体** 戸畑区・北九州市社会福祉協議会、北九州市
- 3 受講対象** 新任の福祉協力員など
- 4 研修会場** 戸畑区役所 3階 大会議室（戸畑区千防1-1-1）
- 5 参加費** 無 料
- 6 日時・内容** 平成29年8月29日（火）10：00～12：00

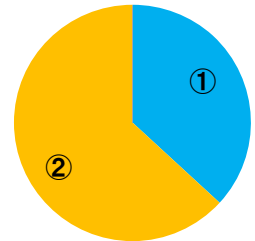
時 間	内 容	講 師 等
9：30～	受 付	
10：00～	開会挨拶	戸畑区社会福祉協議会 会 長 草木 正人
10：10	オリエンテーション	北九州市社会福祉協議会
10：10～ 11：00	「社会福祉協議会の活動と ふれあいネットワーク活動推進事業」 ◇事業紹介1 「地域支援コーディネーターについて」 ◇事業紹介2 「戸畑区社協ボランティア・市民活動センターについて」	戸畑区社会福祉協議会 主 事 坂邊 亮輔 地域支援コーディネーター 伊藤 恭子 ボランティアコーディネーター 鬼塚 美千代
11：00～ 11：10	◇事業紹介3 「いのちをつなぐネットワーク事業について」	戸畑区役所 保健福祉課 いのちをつなぐネットワーク係 係 長 大村 俊行
11：10～ 11：15	リフレッシュ体操(健康マイレージ対象)	北九州市社会福祉協議会
11：15～ 12：00	◇グループワーク 「先輩に学ぼう！福祉協力員の活動」	一枝地区社会福祉協議会 福祉協力員 赤迫 由美子 林田 京子 浅生地区社会福祉協議会 福祉協力員 軍場 久美子 吉田 美津江
12：00	閉会挨拶	北九州市社会福祉協議会

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研日数 修等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	17 人	19 人	19 人	— 才		1 日	2 時間
	2・15	111.8 %					

■ アンケート結果

全体評価	回答 (回収率)	研修全体 について	①	②	③	④	⑤
			全く その通り	どちらか 言うと その通り	どちらか とも 言えない	どちらか 言うと そうでない	全く そうでない
	19 件 100.0 %	満足 できたか?	7	12	0	0	0



主な意見	■ 地域住民同士のつながりの大切さがわかった。
	■ 福祉協力員としての活動内容が理解できた。
	■ 福祉協力員として活動することで地域に役に立ちたい。
	■ 経験者の方の話が身近でわかりやすい。
	■ 先輩福祉協力員の話が大変参考になった。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 先輩福祉協力員の体験談やグループワークは、身近でわかりやすいし、新任の方の不安や疑問をとることもつながるので効果的である。
	また、情報交換等のグループワークは、新任の方の活動の意欲の向上につながる。このような時間を多くとるとよいかも。

■ 研修風景

開会挨拶		いのちをつなぐネットワーク事業	
			
社協活動とふれあいネットワーク活動		先輩に学ぼう！福祉協力員活動	



— 平成 29 年度 —

現任福祉協力員研修 実施要領

- 1 目的** 私たち社会福祉協議会は、住民主体による「ふれあいネットワーク活動」を中心として、「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」を進めています。
 昨今では、この見守り・助け合い・話し合いの3つの仕組みを活かし、サロン等の生活支援活動や災害時の福祉救援体制づくりなどにも取り組まれ、地域社会に必要な福祉活動となっています。
 今回の研修では、これらの活動を進めていく上で重要となる地域の関係団体（民生委員・児童委員等）とのより良い連携方策を見出すことを目的とします。
- 2 実施主体** 門司区・北九州市社会福祉協議会、北九州市
- 3 受講対象** 門司区内の福祉協力員等
- 4 研修会場** 旧大連航路上屋 多目的室B（門司区西海岸1-3-5）
- 5 参加費** 無 料
- 6 日時・内容** 平成29年9月28日（木）

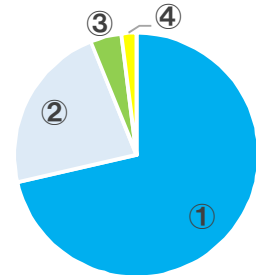
時 間	内 容	講 師 等
12:30～	受 付	
13:00～	開 会	門司区社会福祉協議会 事務局長 小田 光江
13:05～ 15:25	講話及びグループワーク 「地域における関係機関・団体の 連携・協働について」	九州大谷短期大学 福祉学科 教 授 中村 秀一
	実 技（講話中に含む） 要支援者・活動者自身の健康づくり（健康マイレージ対象事業）	
～15:30	閉 会	北九州市社会福祉協議会

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研日数 修等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	63 人	58 人	58 人	— 才		1 日	3 時間

■ アンケート結果

全体評価	回答	研修全体について	①	②	③	④	⑤
	(回収率)		全くその通り	どちらかと言うとその通り	どちらかとも言えない	どちらかと言うとそうでない	全くそうでない
	52 件 89.7 %	満足できたか?	35	11	2	1	0



主な意見	■ どこまで入り込むべきかを悩んでいたが、相手の立場に立って考えればよいと思うと心が軽くなった。一人で抱えこまないでよいことがわかった。
	■ 福祉協力員の立ち位置がよくわかった。
	■ 「互助」を増やし、近所づきあいを大切にしていきたい。
	■ つながり希薄化している時代に協働していくことはなかなか難しい。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 講義内容は大変好評であった。
	■ グループワークの班分けを自由にしたため、話しやすかったという意見もあったが、他校区の方の話も聞いてみたかったという意見もあった。次回は、校区が重ならないよう班分けをしていき、他校区との違いを実感できるようにしていきたい。

■ 研修風景

開会		要支援者・活動者自身の健康づくり	
地域における関係機関・団体との連携活動について		グループワーク	

— 平成 29 年度 —

現任福祉協力員研修 実施要領

- 1 趣 旨** 私たち社会福祉協議会は、住民主体による「ふれあいネットワーク活動」を中心として、「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」を進めています。
 昨今では、この見守り・助け合い・話し合いの3つの仕組みを活かし、サロン等の生活支援活動や災害時の福祉救援体制づくりなどにも取り組まれ、地域社会に必要な福祉活動となっています。
 今回の研修では、これらの活動を進めていく上で重要となる地域の関係団体（民生委員・児童委員等）とのより良い連携方策を見出すことを目的とします。
- 2 実施主体** 小倉北区・北九州市社会福祉協議会、北九州市
- 3 受講対象** 小倉北区内の福祉協力員等
- 4 研修会場** 北九州市立男女共同参画センタームーブ 5階 大セミナールーム
 （小倉北区大手町11-4）
- 5 研修日時** 平成29年11月22日（水）13:00～15:30
- 6 参加費** 無料
- 7 研修内容**

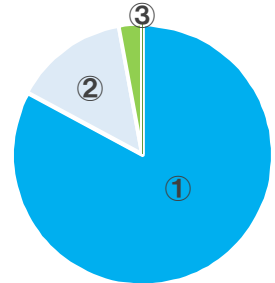
時 間	内 容	講 師 等
12:30～	受 付	
13:00～	開 会	小倉北区社会福祉協議会 事務局長 小池 昭
13:05～ 14:05	講話及びグループワーク① 「地域における関係機関・団体との 連携・協働について」	九州大谷短期大学 福祉学科 教 授 中村 秀一
～14:15	休 憩	
14:15～ 14:25	実 技 要支援者・活動者自身の健康づくり (健康マイレージ対象事業)	北九州市社会福祉協議会 地域福祉部 生活福祉課
14:25～ 15:25	講話及びグループワーク② 「地域における関係機関・団体との 連携・協働について」	九州大谷短期大学 福祉学科 教 授 中村 秀一
～15:30	閉 会	北九州市社会福祉協議会

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研日数 修等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	40 人 18・22	40 人 100.0%	40 人	— 才		1 日	3 時間

■ アンケート結果

全体評価	回答 (回収率)	研修全体 について	①	②	③	④	⑤
			全く その通り	どちらか と言うと その通り	どちらか とも言 えない	どちらか と言うと そうでない	全く そうでない
	36 件 90.0%	満足 できたか?	29	5	1	0	0



主な意見	■ 福祉協力員の立場や活動を改めて知るきっかけとなった。非常によかった。
	■ たくさんヒントをいただいて、これからの活動の役に立てたい。
	■ 自分たちがこれからどのような活動をしていけばよいかを考える貴重な時間だった。
	■ 日頃他校区と交流する機会がない。このような場は必要だと思う。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 講義内容は好評であった。福祉協力員と民生委員・児童委員との連携をはかる上で、大切なポイントを学べたと思う。2時間半の研修であったが、休憩やマイレージ事業、グループワークがあり、参加者を飽きさせない研修であった。また他校区との意見交換は、今後も取り入れていくべきだと思う。
--------------------	---

■ 研修風景

開会		グループワーク①	
講話		グループワーク②	



— 平成 29 年度 —

現任福祉協力員研修 実施要領

- 1 趣 旨** 私たち社会福祉協議会は、住民主体による「ふれあいネットワーク活動」を中心として、「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」を進めています。
 昨今では、この見守り・助け合い・話し合いの3つの仕組みを活かし、サロン等の生活支援活動や災害時の福祉救援体制づくりなどにも取り組んでおり、地域社会に必要な福祉活動となっています。
 今回の研修では、これらの活動を進めていく上で重要となる地域の関係団体（民生委員・児童委員等）とのより良い連携方策を見出すことを目的とします。
- 2 実施主体** 小倉南区・北九州市社会福祉協議会、北九州市
- 3 受講対象** 小倉南区内の現任福祉協力員等
- 4 研修会場** 小倉南生涯学習センター3階 視聴覚室
 (小倉南区若園5-1-5)
- 5 参加費** 無 料
- 6 日時・内容** 平成29年12月2日(土)

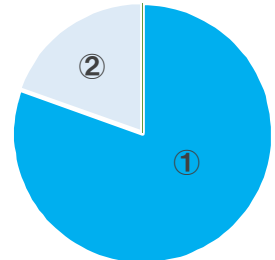
時 間	内 容	講 師 等
12:30～	受 付	
13:00～	開 会	小倉南区社会福祉協議会 会 長 築 別 邦 博
13:05～ 15:25	講話及びグループワーク 「地域における関係機関・団体との 連携・協働について」	九州大谷短期大学 福祉学科 教 授 中 村 秀 一
	実 技（講話中に含む） 要支援者・活動者自身の健康づくり（健康マイレージ対象事業）	
～15:30	閉 会	北九州市社会福祉協議会

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 日 数	修 等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)					延	延
	47 人	46 人	46 人	— 才			1 日	3 時間
	4・43	97.9 %						

■ アンケート結果

全体評価	回答	研修全体 について	①	②	③	④	⑤
	(回収率)		全く その通り	どちらか と言うと その通り	どちらか とも言 えない	どちらか と言うと そうでない	全く そうでない
	42 件 91.3 %	満足 できたか?	33	8	0	0	0



主な意見	■ 支援はなかなか難しいが、真心をもって接していくことが大切。
	■ 地域の中で「自助の限界」のサインを見逃さない絆づくりが必要。
	■ ふれあいネットワークの福祉協力員の大切さがよくわかった。
	■ グループワークでは、地域ごとにいろいろなケースがあることがわかり、又、その努力が理解でき、参考になった。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 講義内容は大変好評であった。これからの福祉協力員の活動の参考になったとの感想が多かった。2時間半の研修であったが、他校区との意見交換の機会となったグループワークは、時間が足りないとの意見が出るほど盛り上がった。今後も取り入れていくべきだと思う。
--------------------	--

■ 研修風景

開会		地域における関係機関・団体との連携・協働について	
要支援者・活動者自身の健康づくり		グループワーク	

— 平成 29 年度 —

現任福祉協力員研修 実施要領

- 1 趣 旨** 私たち社会福祉協議会は、住民主体による「ふれあいネットワーク活動」を中心として、「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」を進めています。
 昨今では、この見守り・助け合い・話し合いの3つの仕組みを活かし、サロン等の生活支援活動や災害時の福祉救援体制づくりなどにも取り込まれ、地域社会に必要な福祉活動となっています。
 今回の研修では、これらの活動を進めていく上で重要となる地域の関係団体（民生委員・児童委員等）とのより良い連携方策を見出すことを目的とします。
- 2 実施主体** 若松区・北九州市社会福祉協議会、北九州市
- 3 受講対象** 若松区内の福祉協力員等
- 4 研修会場** 若松区役所・3階・特別会議室（若松区浜町1-1-1）
- 5 研修日時** 平成29年11月8日（水）13:00～15:30
- 6 参加費** 無料
- 7 研修内容**

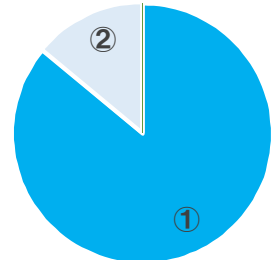
時 間	内 容	講 師 等
12:30～	受 付	
13:00～	開 会	若松区社会福祉協議会 事務局長 木下 義憲
13:05～ 14:05	講話及びグループワーク① 「地域における関係機関・団体との 連携・協働について」	九州大谷短期大学 福祉学科 教授 中村 秀一
～14:15	休 憩	
14:15～ 14:25	実 技 要支援者・活動者自身の健康づくり (健康マイレージ対象事業)	北九州市社会福祉協議会 地域福祉部 生活福祉課
14:25～ 15:25	講話及びグループワーク② 「地域における関係機関・団体との 連携・協働について」	九州大谷短期大学 福祉学科 教授 中村 秀一
～15:30	閉 会	北九州市社会福祉協議会

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 日 数	修 等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)					延	延
	55 人	52 人	52 人	— 才			1 日	3 時間
	—・—	94.5 %						

■ アンケート結果

全体評価	回答 (回収率)	研修全体 について	①	②	③	④	⑤
			全く その通り	どちらか 言うと その通り	どちらとも 言えない	どちらか 言うと そうでない	全く そうでない
	44 件 84.6 %	満足 できたか?	37	6	0	0	0



主な意見	■ 「支援活動は、特別な活動ではない。日常の私の生活に溶け込んだもの」 私ができることをやればよいということで、少し楽になった。
	■ 活動は自分のためにもなるということがよくわかった。これからも前向きに みんなと協力しながら活動を続けていけそうだ。
	■ 情報の共有化が必要だと思った。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 講義内容は好評であった。「支援活動は特別な活動ではない。日常の私の生活に溶け込んだもの」という視点から、自身の活動を見直すきっかけになったのではないと思う。グループワークでは、他校(地)区と情報交換できてよかったという意見が多数あった。
--------------------	--

■ 研修風景

開会		グループワーク①	
講話		グループワーク②	



— 平成 29 年度 —

現任福祉協力員等合同研修会 実施要領

- 1 目的** 私たち社会福祉協議会は、住民主体による「ふれあいネットワーク活動」を中心として、「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」を進めています。
 昨今では、この見守り・助け合い・話し合いの3つの仕組みを活かし、サロン等の生活支援活動や災害時の福祉救援体制づくりなどにも取り組まれ、地域社会に必要な福祉活動となっています。
 今回の研修では、これらの活動を進めていく上で重要となる地域の関係団体（民生委員・児童委員等）とのより良い連携方策を見出すことを目的とします。
- 2 実施主体** 八幡東区・北九州市社会福祉協議会、北九州市
- 3 受講対象** 八幡東区内の福祉協力員、民生委員・児童委員 等
- 4 研修会場** レインボープラザ 7階71会議室（八幡東区中央2-1-1）
- 5 参加費** 無 料
- 6 日時・内容** 平成29年10月7日（土）

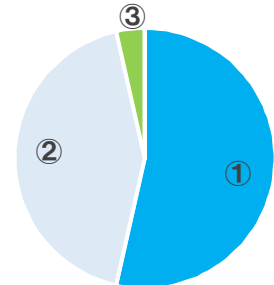
時 間	内 容	講 師 等
12:30～	受 付	
13:00～	開 会	八幡東区社会福祉協議会 会 長 半 田 康 行
13:05～ 14:05	講 話 「地域における関係機関・団体との 連携・協働について①」	九州大谷短期大学 福祉学科 学科長/教 中 村 秀 一
14:05～ ～14:15	休 憩	
14:15～ 14:25	実 技（健康マイレージ対象事業） 要支援者・活動者自身の健康づくり	北九州市社会福祉協議会 生活福祉課 縄 手 富 美
14:25～ 15:25	グループワーク 「地域における関係機関・団体との 連携・協働について②」	九州大谷短期大学 福祉学科 学科長/教 中 村 秀 一
～15:30	閉 会	北九州市社会福祉協議会

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 日 数 修 等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	33 人	34 人	34 人	— 才		1 日	3 時間
	20・13	103.0 %					

■ アンケート結果

全体評価	回答 (回収率)	研修全体 について 満足 できたか?	①	②	③	④	⑤
			全く その通り	どちらか と言うと その通り	どちら とも言 えない	どちら かと言 うと そうで ない	全く そうで ない
	29 件 85.3 %	満足 できたか?	15	12	10	0	0



主な意見	<ul style="list-style-type: none"> 見守り・助け合い・話し合いの必要性について改めて理解することができた。 福祉協力員としてやるべきことを再認識することができた。 人と人とを繋げるという考え方に気持ちが楽になった。 小さなことに耳を傾け行動していきたい。
------	--

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	<ul style="list-style-type: none"> 講義内容は大変好評であった。 意見交換では、講師の意向で、校区が重ならないよう班分けをし、他校区との違いを実感できたことはよかったと思う。
--------------------	--

■ 研修風景

開会		要支援者・活動者自身の健康	
地域における関係機関・団体との連携協働について①		グループワーク	



— 平成 29 年度 —

現任福祉協力員研修 実施要領

- 1 目的** 私たち社会福祉協議会は、住民主体による「ふれあいネットワーク活動」を中心として、「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」を進めています。
 昨今では、この見守り・助け合い・話し合いの3つの仕組みを活かし、サロン等の生活支援活動や災害時の福祉救援体制づくりなどにも取り込まれ、地域社会に必要な福祉活動となっています。
 今回の研修では、これらの活動を進めていく上で重要となる地域の関係団体（民生委員・児童委員等）とのより良い連携方策を見出すことを目的とします。
- 2 実施主体** 八幡西区・北九州市社会福祉協議会、北九州市
- 3 受講対象** 八幡西区内の福祉協力員等
- 4 研修会場** 北九州市立八幡西生涯学習総合センター 大会議室
 （八幡西区黒崎3-15-3 コムシティ3階）
- 5 研修日時** 平成29年12月8日（金）13:00～16:00
- 6 参加費** 無 料
- 7 研修内容**

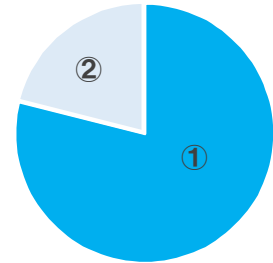
時 間	内 容	講 師 等
12:30～	受 付	
13:00～	開 会	八幡西区社会福祉協議会 会長 奥尾 一雄
13:10～ 14:15	講 話 「地域における関係機関・団体との 連携・協働について」	九州大谷短期大学 福祉学科 教授 中村 秀一
～14:25	休 憩	
14:25～ 14:35	実 践（健康マイレージ対象事業） 「地域で実践！ みんなのできる健康体操」	北九州市社会福祉協議会 地域福祉部 生活福祉課
14:35～ 15:25	グループワーク 「地区（北部・中部・南部）ごとに 分かれて話し合いをしてみよう！」	九州大谷短期大学 福祉学科 教授 中村 秀一
15:25～ 15:55	まとめ 「“みんなが安心して暮らせる 支え合いのまちづくり”のために 私たちにできること」	
～16:00	閉 会	北九州市社会福祉協議会

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研日数 修等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	85 人	75 人	75 人	— 才		1 日	3 時間
	12・73	88.2 %					

■ アンケート結果

全体評価	回答 (回収率)	研修全体 について	①	②	③	④	⑤
			全く その通り	どちらか と その通り	どちら とも 言えない	どちら か と そうでない	全く そうでない
	59 件 78.7 %	満足 できたか?	45	12	0	0	0



主な意見	■ 現在の問題がクローズアップされた講義であった。
	■ 福祉協力員をやる上での基本的な姿勢を改めて学んだ。
	■ 活動の仕方を再認識した。
	■ グループワークでは、他の地域の活動状況を聞くことができ、抱える問題等を話し合えて良かった。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 講義内容は大変好評であった。福祉協力員の仕事が理解でき、今後の活動の参考になったとの感想が多かった。3時間の研修であったが、他の地域との情報交換の機会となったグループワークは、もう少し時間が欲しいとの意見が出るほどで、今後も取り入れていくべきだと思う。
--------------------	--

■ 研修風景

開会		地域における関係機関・団体との連携・協働について	
地域で実践！みんなでできる健康体操		グループワーク・まとめ	



— 平成 29 年度 —

現任福祉協力員研修 実施要領

- 1 目的** 私たち社会福祉協議会は、住民主体による「ふれあいネットワーク活動」を中心として、「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」を進めています。
- 昨今では、この見守り・助け合い・話し合いの3つの仕組みを活かし、サロン等の生活支援活動や災害時の福祉救援体制づくりなどにも取り組まれ、地域社会に必要な福祉活動となっています。
- 今回の研修では、これらの活動を進めていく上で重要となる地域の関係団体（民生委員・児童委員等）とのより良い連携方策を見出すことを目的とします。
- 2 実施主体** 戸畑区・北九州市社会福祉協議会、北九州市
- 3 受講対象** 戸畑区内の福祉協力員等
- 4 研修会場** 戸畑区役所 3階 大会議室（戸畑区千防1-1-1）
- 5 参加費** 無料
- 6 日時・内容** 平成29年12月11日（月）

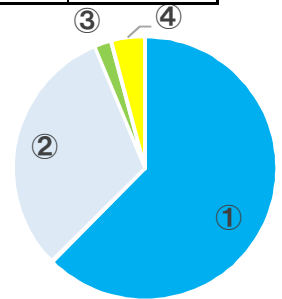
時間	内容	講師等
12:30～	受付	
13:00～	開会	戸畑区社会福祉協議会 会長 草木 正人
13:05～ 14:05	講義 「地域における関係機関・団体との 連携・協働について①」	九州大谷短期大学 福祉学科 教授 中村 秀一
～14:15	休憩	
14:15～ 14:25	実践 （健康マイレージ対象事業） 「地域で実践！みんなでできる健康体操」	北九州市社会福祉協議会 地域福祉部 生活福祉課
14:25～ 15:25	グループワーク 「地域における関係機関・団体との 連携・協働について②」	九州大谷短期大学 福祉学科 教授 中村 秀一
～15:30	閉会	北九州市社会福祉協議会

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 日 数	修 等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)					延	延
	56 人	52 人	52 人	— 才			1 日	3 時
	18・38	92.9%						

■ アンケート結果

全体評価	回答	研修全体 について	①	②	③	④	⑤
	回答		全く その通り	どちらか 言うと その通り	どちらとも 言えない	どちらか 言うと そのでない	全く そのでない
	48 件 92.3%		30	15	1	2	0



■ 主な意見

- 福祉協力員としての心構え・取り組みの姿勢を学習できた。
- 地域の中で互助することの大切さを熱心に教えていただいた。
- 他の地域の良いところを自分の地域と比較することができ勉強になった。
- ボランティア活動ができる幸せを感じることができました。

■ 事業点検

点検・講評	■ 講義内容は好評であった。地域における関係機関・団体との連携・協働についての講義は、自身の活動を再確認するきっかけになったと思う。講義に加え、グループワークでは、他の地区の活動内容が自分の地区と違うことに気付き新たな情報を取り入れることで今後の地域活動がより発展していくのではないかと感じた。
(今後の取り組み)	

■ 研修風景

開会挨拶		地域で実践！みんなでできる健康体操	
	地域における関係機関・団体との連携・協働について【講義】		地域における関係機関・団体との連携・協働について【ワーク】

— 平成 29 年度 —

地域福祉活動専門研修 実施要領

～ わがまちの中長期福祉のまちづくり計画策定に向けて ～

- 1 目的** 私たちのまち北九州市では、「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」を目指し、小地域における福祉活動の要「校(地)区社会福祉協議会」が中心となり、地域の福祉課題に対応できるよう「ふれあいネットワーク活動」に取り組んでいます。
この活動の指針となる「北九州市地域福祉活動第五次計画」を推進するうえで、校(地)区社協が持つ「小地域福祉活動計画」は、大変重要な役割を担います。
本研修では、計画づくりの意義と必要性等の理解を深めるとともに、校(地)区社協の計画策定が実現することを願い、開催するものです。
- 2 実施主体** 各区・北九州市社会福祉協議会、北九州市
- 3 開催会場** ウェルとばた 2階多目的ホール（戸畑区汐井町1-6）
- 4 対象者** 校(地)区社会福祉協議会の事務局長、ふれあいネットワーク活動部長、福祉協力員、民生委員・児童委員など 【定員100名】
- 5 日時・内容** 平成29年12月15日（金）
テーマ：小地域福祉活動計画づくりの意義と必要性を学ぶ
※本研修は、平成30年度に第一次計画並びに第二次計画の策定に取り組む校(地)区社会福祉協議会の皆様に、計画づくりの意義と校(地)区社協にとっての成果を学んでいただきます。

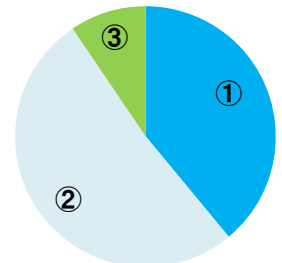
時間	プログラム	講師等
14:00 ～14:15	開 講	社会福祉ボランティア大学校 校 長 山 崎 克 明
	オリエンテーション	北九州市社会福祉協議会 ボランティア・市民活動センター
14:15 ～14:50	講 義 「小地域福祉活動計画の意義と必要性」	福岡県立大学 人間社会学部 社会福祉学科 准教授 村 山 浩一郎 氏
14:50 ～15:50	パネルディスカッション ～ 事例発表 ～	
	◆発表 ① 「元気・安全安心 田野浦校区を目指して」	門司区 田野浦校区社会福祉協議会 会長 金子 篤 氏
	◆発表 ② 「計画策定後の 地域(まち)の変化・成果について」	小倉北区 足原校区社会福祉協議会 会長 金子 輝子 氏
～16:00	休 憩	
16:00 ～16:30	講 義 「小地域福祉活動計画の成果と展望」	福岡県立大学 人間社会学部 社会福祉学科 准教授 村 山 浩一郎 氏
～16:30	閉 講	北九州市社会福祉協議会 ボランティア・市民活動センター

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研日数 修等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)					
	116 人	118 人	118 人	— 才		1 日	3 時間
	57・59	101.7 %					

■ アンケート結果

全体評価	回答 回数	研修全体 について 満足 できたか?	①	②	③	④	⑤
			全く その通り	どちらか 言うと その通り	どちらか 言えない	どちらか 言うと その通り	全く その通り
	98 件 83.1 %		37	49	9	0	0



主な意見	■ 地域のことを知らないと前進することはできないということに気付くことができた。
	■ 事例発表を通して、他校区の取組みを知ることができ、また新たな発見があり、大変参考になった。
	■ 学んだことを自分の地域活動に生かしていきたい。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 事例発表を通して、計画づくりに加え日頃の小地域福祉活動の意義や重要性も再確認してもらえたように感じた。この研修をきっかけに計画づくりに取りかかる校(地)区が増えていけばいいと思う。
	■ 研修の終了時間が遅くなったため、次回は考慮する必要がある。

■ 研修風景

小地域福祉活動計画の意義と必要性		事例発表②	
事例発表①		パネルディスカッション	

— 平成 29 年度 —

地域福祉活動指導者研修「トップセミナー」実施要領

テーマ 「地域の生活支援力」をもっと高めるために ～安心して暮らせる北九州 私たちにできること～

- 1 目 的** 現在、国においては、高齢者問題に向けて様々な対策が打ち出されています。その中でも急増する後期高齢者への対応として、団塊世代が 75 歳以上となる 2025 年を「後期高齢者 2,000 万人社会」と想定し多様なサービスによる新たな地域支援事業の展開が予定されています。
- 一方、私たちのまち北九州市では、全国水準を上回る少子高齢社会を迎える中、校(地)区社会福祉協議会においては、「ふれあいネットワーク活動」を中心に、住民がお互いを見守り、支え合い、孤立しがちな人々とのつながりを強め、生活課題の発見や解決を支援していく取り組みを進めています。
- 本セミナーでは、今後の後期高齢者の増加を見据え「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」の実現に向けこれからの校(地)区での福祉活動の展開について、校(地)区で中心的な役割を担う方々と共に考えていくために開催するものです。
- 2 実施主体** 各区・北九州市社会福祉協議会、北九州市
- 3 会 場** ウェルとばた 3階 中ホール（戸畑区汐井町1-6）
- 4 対 象 者** 校(地)区社協 正・副会長、地区民児協 正・副会長など、小地域福祉活動においてリーダー的役割を担う方
- 【定員 300 名】
- 5 日時・内容** 平成 30 年 2 月 15 日（木）

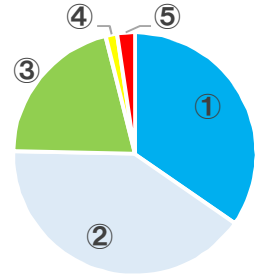
時 間	内 容
12:30～	受 付
13:00～13:15	開 会・オリエンテーション
13:15～13:45	報 告 「北九州市の地域福祉活動の現状と課題」 北九州市社会福祉協議会 地域福祉部長 礪田 佳宏
13:45～15:15	講 演 「地域の生活支援力」をもっと高めるために ～ 安心して暮らせる北九州 私たちにできること ～ 早稲田大学 社会科学総合学院 教 授 久塚 純一氏
～15:30	閉 会

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研日数 修等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	185 人	175 人	175 人	— 才		1 日	3 時間
	122・63	96.4%					

■ アンケート結果

全体評価	回答	研修全体 について	①	②	③	④	⑤
	(回収率)		全く その通り	どちらか と言うと その通り	どちらとも 言えない	どちらか と言うと そうでない	全く そうでない
	138 件	満足 できたか?	45	53	27	2	3
	78.9%						



主な意見	■ 報告がわかりやすかった。
	■ 地域でまとまり、力を出し合い、地域力を高めていくことが大切だとわかった。
	■ 物事を固定的にとらえるのではなくて、時代は変化するということを理解し、
	■ そのときにあった地域福祉活動をしていかないといけないことを学んだ。
	■ 内容はわかりやすかったが、大学の講義のような形式だったのでなじまなかった。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 休憩時間を確保する。
	■ 北九州市の報告を聞いたあとで学識経験者の話を聞くとわかりやすいという声もあったので今後もこの流れで行っていきたい。
	■ 具体的な事例を交えて講義をしていただくようお願いしたい。

■ 研修風景

開 会		講 演 ①	
北九州市の地域福祉活動の現状と課題		講 演 ②	

— 平成 29 年度 —

校(地)区社会福祉協議会 新任役員研修 実施要領

- 1 目的** 私たちのまち北九州市では、「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」のために、地域住民が主体となった小地域福祉活動を校(地)区社会福祉協議会が中心となって展開しています。
今回の研修では、新しく校(地)区社会福祉協議会の役員に就任された方々に、活動の基本を確認していただくとともに、リーダーとして校(地)区社会福祉協議会をどのように運営していくかを市・区社会福祉協議会と一緒に考えていきます。
- 2 実施主体** 各区・北九州市社会福祉協議会、北九州市
- 3 研修日時** 平成29年6月20日（火）10：00～15：00
- 4 研修会場** ウェルとばた 2階 多目的ホール（戸畑区汐井町1-6）
- 5 対象者** 新たに校(地)区社会福祉協議会役員（会長・副会長・ふれあいネットワーク部会長等）に就任された方 **【定員100名】**
- 6 研修内容**

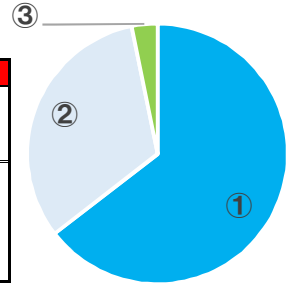
時間	内 容	講 師 等
9：30～	受 付	
10：00 ～10：15	開 会・オリエンテーション	北九州市社会福祉協議会 会 長 柏 木 修
10：15 ～11：00	講 義 「小地域福祉活動の意義と 校(地)区社協運営について」	北九州市社会福祉協議会 地域福祉部 部 長 磯 田 佳 宏
11：00 ～12：00	事例紹介 「事例で学ぶ、校(地)区社協の運営」	【コーディネーター】 九州大谷短期大学 福祉学科 教 授 中 村 秀 一
	事例Ⅰ 「連絡調整会議を中心とした組織運営」	戸畑区天籟寺地区社会福祉協議会 会 長 福 田 泰 治
	事例Ⅱ 「校区社協の地域活動について」	八幡東区大蔵第三地区社会福祉協議会 会 長 光 行 靖 基
12：00～	昼食休憩 要支援者と活動者自身の健康づくり紹介（健康マイレージ対象事業）	
13：00 ～14：45	講 義 「地域の関係団体との連携・協働」	九州大谷短期大学 福祉学科 教 授 中 村 秀 一
～15：00	閉 会	社会福祉ボランティア大学校 校 長 山 崎 克 明

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 日 数	修 等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)					延	延
	80 人	79 人	79 人	— 才			1 日	5 時間
	51・29	98.8 %						

■ アンケート結果

全体評価	回答	研修全体 について	①	②	③	④	⑤
	(回収率)		全く その通り	どちらか と言うと その通り	どちらか も 言えない	どちらか と言うと そうでない	全く そうでない
	64 件 81.0 %	満足 できたか?	40	20	2	0	0



主な意見	■ 地域活動の必要性はわかったが、地域活動に参加してくれる人を見つけることが難しい。私たちも向上しなくてはならない。
	■ 福祉活動のあり方を学べた。支援活動の大切さを考え活動していきたい。
	■ 事例発表で、「行きたくなる会議の場にする」という話に感銘を受けた。発表内容を参考に、今後の活動に取り入れたい。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 校(地)区社協の新任役員として、活動の基本を学び、概ね理解を得られたと思う。
	■ 事例発表を通じて、校(地)区社協の運営に関しての話を聞き、参考になったと思う。活動の再考をする契機になったのではと思う。

■ 研修風景

小地域福祉活動の意義と校地区社協運営について		事例で学ぶ「校地区社協の運営」②	
事例で学ぶ「校地区社協の運営」①		地域の関係団体との連携・協働	

— 平成 29 年度 —

まちづくりゼミナール 実施要領

- 1 目的** 「まちづくりゼミナール」は、主に、地域で活躍する指導者を支援するため、ゼミナール形式により、地域づくりのための情報交換・討論等を行いながら、地域コミュニティの再生に取り組む研修会です。
 今回は、社会福祉法改正に伴い、社会福祉法人の地域における公益的な取り組みが実施される中、その専門性を地域福祉活動に生かすことで、地域が抱えるいろいろな課題に対する解決の可能性や、その効果、また、取り組みの中で発生してくると思われる地域との問題点について考えます。
- 2 実施主体** 北九州市社会福祉協議会、北九州市
- 3 受講対象** 校(地)区社協・地区民児協・まちづくり協議会の役員
 実務者会議の役員等 30名
- 4 研修会場** ウェルとばた 12階 H・I研修室（戸畑区汐井町1-6）
- 5 研修日時** 平成29年9月12日（火）、10月17日（火）、11月14日（火）
 いずれも10：00～12：00
- 6 参加費** 無料
- 7 テーマ** 「社会福祉施設等の社会貢献活動とその専門性を活かした地域の課題解決」

8 研修内容

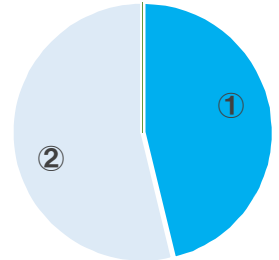
日程	内容	講師
一 目 目 9月12日 (火)	コーディネーター 北九州市社会福祉ボランティア大学校 校長 山崎 克明 ■ 社会福祉法人の公益活動に地域が期待するものは何かを考える。	事例Ⅰ 八幡東区 大蔵第一地区社会福祉協議会 会長 梅本 治孝 事例Ⅱ 社会福祉法人 薫会 理事長 曾我 満美
二 目 目 10月17日 (火)	■ 保育園、障害者施設の専門性を活かした社会貢献の在り方考える。	事例Ⅲ 若松区 鴨生田校区社会福祉協議会 ゆかりの館 久保田 京子 事例Ⅳ 社会福祉法人 北九州市保育事業協会 千防保育所 施設長 内田 リツ子
三 目 目 11月14日 (火)	■ 企業による社会貢献活動で地域が望むもの、企業が出来ることを考える。 ■ まとめ ～ 社会福祉施設や企業が持つ専門性を地域の課題とどううまく結び付けていくか。	事例Ⅴ 北九州農業協同組合 営農企画課長 池尻 正昭 社会福祉ボランティア大学校 校長 山崎 克明

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研日数 修等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	19 人	20 人	49 人	— 才		3 日	6 時間
	8・11	105.3 %					

■ アンケート結果

全体評価	回答 (回収率)	研修全体 について 満足 できたか?	①	②	③	④	⑤
			全く その通り	どちらかと 言うとその通り	どちらとも 言えない	どちらかと 言うとそのでない	全く そのでない
	13 件 65.0 %		6	7	0	0	0



主な意見	■ 事例発表で学んだことを自分の地区の事業所等に連絡を取り、まちづくりに役立ていきたい。
	■ 社会資源の活用・連携の重要性を認識できた。
	■ 地域にある施設との携わり方を考えることができた。
	■ これからも地域でできることを行っていきたい。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 事例発表は非常に好評で、地域の参考になっている。
	■ ゼミ形式にすることでより活発な意見交換を行うことができた。しかし、この形式で研修を行うには、20人が限度となるので工夫が必要。

■ 研修風景



— 平成 29 年度 —
企業の社会貢献活動セミナー 実施要領

- 1 趣 旨** 本セミナーでは、企業で社会貢献活動を担当している人を対象に、実際に社会貢献を進めている企業からの発表をもとに、企業にとっての社会貢献活動の価値を考えるとともに、活動を進めていく上での具体的なパートナーとの出会いを目的とします。
- 2 実施主体** 北九州市社会福祉協議会、北九州市
- 3 受講対象** 各企業の社会貢献活動担当者
- 4 研修会場** ウェルとばた 12階 H・I研修室（戸畑区汐井町1-6）
- 5 日程・内容** 平成30年3月9日（金）

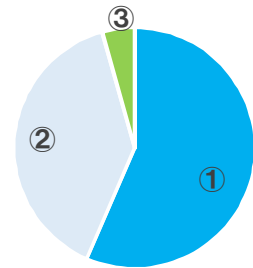
時間	内 容	講 師 等
13:00～	受 付	
13:30～	開 会・オリエンテーション	
13:40～ 14:00	報 告 「企業の社会貢献活動について」	北九州市社会福祉協議会 ボランティア・市民活動センター
14:00～ 16:00	演 習 テーマ 「企業による社会貢献活動で地域が望むもの、企業にできることを考える」	広島修道大学 ひろしま未来協創センター 教 員 田坂 逸朗
	発 表 ①	エフコープ生活協同組合 組合員活動部 部 長 安元 正和
	発 表 ②	中央福岡ヤクルト販売株式会社 CS推進室 係 長 柿内 和博
	グ ル ー プ ワ ー ク ま と め	広島修道大学 ひろしま未来協創センター 教 員 田坂 逸朗
～16:00	閉 会	

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研日数 修等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	29 人	25 人	25 人	— 才		1 日	3 時間
	—・—	86.2 %					

■ アンケート結果

全体評価	回答 (回収率)	研修全体 について 満足 できたか?	①	②	③	④	⑤
			全く その通り	どちらか と言うと その通り	どちらとも 言えない	どちらか と言うと そうでない	全く そうでない
	23 件 92.0 %	満 足 で き た か?	13	9	1	0	0



主な意見	■ 社会貢献活動をするにあたって、何から手をつけて良いのかわからなかったが、今回参加して、得られるものが大きかった。
	■ グループワークにおいて。社会貢献を考えていても、きっかけが難しいと思っている会社が多いと思った。
	■ たくさんの気付きがあった。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ ファシリテーターの進行するグループワーク（ワールドカフェ）が、大変好評であった。もう少し時間を長くしても良いのでは。
	■ 他業種との交流で、新たな方向性を知るきっかけになったようである。
	■ 研修時期について、年度末の多忙な時期を避けての実施を考慮する必要があると思われる。

■ 研修風景

発表 ①		演習 グループワーク	
			演習 まとめ

— 平成 29 年度 —

社会福祉法人の社会貢献活動セミナー 実施要領

- 1 趣 旨** 昨年度の社会福祉法の改正に伴い、社会福祉法人では、地域における公益的な取組みを実施する責務が規定されました。
本セミナーでは、社会貢献に取り組む実践報告を踏まえ、社会福祉法人が地域の一員として貢献活動をすることの重要性等について考えて参ります。
- 2 実施主体** 北九州市社会福祉協議会、北九州市
- 3 受講対象** 社会福祉法人の社会貢献担当者など
- 4 研修会場** ウェルとばた 12階H・I研修室（戸畑区汐井町1 - 6）
- 5 日程・内容** 平成30年3月1日（木）

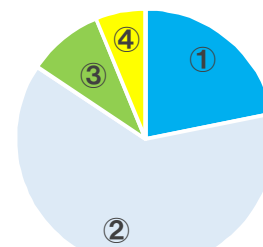
時 間	内 容	講 師 等
13:00～	受 付	
13:30～	開 会・オリエンテーション	
13:40～ 14:00	基調説明 「社会福祉施設と社協との地域における 今後の活動の展望について」	公益社団法人 北九州高齢者福祉事業協会 副 会 長 浦部 倫太
14:00～ 15:30	テーマ 「社会福祉施設の専門性を活かした 地域への社会貢献の在り方を考える」	コーディネーター 北九州市社会福祉ボランティア大学校 校 長 山崎 克明
	実 践 報 告 ①	(社福)春秋会 特別養護老人ホーム 好日苑 施 設 長 渡辺 英雄
	実 践 報 告 ②	(社福)北九州市手をつなぐ育成会 若松工芸舎 事業所長 小川 誠治
	実 践 報 告 ③	(社福)北九州市小倉社会事業協会 理 事 大塚 友江
～15:30	閉 会	

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研日数 修等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	42 人	44 人	44 人	— 才		1 日	2 時間
	—・—	104.7 %					

■ アンケート結果

全体評価	回答	研修全体について	①	②	③	④	⑤
	(回収率)		全くその通り	どちらかと言うとその通り	どちらとも言えない	どちらかと言うとそうでない	全くそうでない
	33 件	満足 できたか?	7	20	3	2	0
	75.0 %						



主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ■ 地域にかかわることを、何かしたいとの思いで参加したが、大変よく理解できた。今後は一つずつでも参加できることを考えていきたい。 ■ 置かれた立場から積極的に関わり、貢献することが、まず一歩であると思った。 ■ 実践報告の内容に、身近なヒントが多くあった。
------	--

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 高齢者施設、障害者施設、保育園からの具体的な実践報告は、大変好評であった。 ■ 社会福祉法人の方々が集まる機会なので、交流や意見交換ということで、グループ討議があってもよいと思うという声があった。 ■ 研修時期について、年度末の多忙な時期を避けての実施を考慮する必要があると思われる。
--------------------	--

■ 研修風景

基調説明		実践報告を聞く受講生の皆さん	
			質疑応答
実践報告		質疑応答	

平成 29 年度 ボランティア・コーディネーター研修 実施要領

ボランティアとのかかわり方を学ぼう!!

～ いま求められるボランティアコーディネーションとは ～

- 1 **目 的** 社会福祉施設や市民センター・校(地)区社協等でボランティア受入担当者(ボランティアコーディネーター等)を対象に、施設利用者、ボランティア、担当者それぞれにとってプラスになるようなコーディネーションとは何かを学びます。
- 2 **実施主体** 戸畑区・北九州市社会福祉協議会、北九州市
- 3 **研修会場** ウェルとばた 12階H・I研修室(戸畑区汐井町1-6)
※駐車場は限りがございます。公共交通機関をご利用ください。
- 4 **研修日時** 平成29年6月29日(木) 9:45～16:00
- 5 **参加対象** 社会福祉施設や市民センター、校(地)区社協活動等において、ボランティアコーディネーション(ボランティア受入等)を担う方
定員40名(定員を超えた場合は抽選とさせていただきます。)
- 6 **受講料** 700円
- 7 **研修内容**

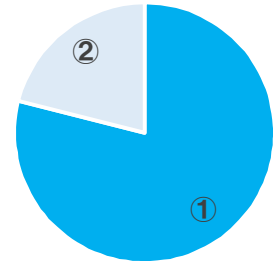
時間	内 容	講 師
9:30～	受 付	
9:45～	開 会・オリエンテーション	北九州市社会福祉協議会
10:00 ～10:45	事業紹介 「社会福祉協議会 ボランティア・市民活動センターとは」	北九州市社会福祉協議会 ボランティア・市民活動センター 活動推進課長 安仲 寿
11:00 ～12:00	講 議 「ボランティアコーディネートとは」	
12:00	昼休み	
13:00 ～15:45	講 義・ワークショップ 「自身の ボランティアコーディネーション について考える」	デイサービスセンター都の杜 管理者 石井 朱 實
～16:00	閉 会	北九州市社会福祉協議会

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研日数 修等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	35 人	32 人	32 人	43.7 才		1 日	6 時間
	10・25	91.4%					

■ アンケート結果

全体評価	回答 (回収率)	研修全体 について	①	②	③	④	⑤
			全く その通り	どちらか と言うと その通り	どちらか とも言 えない	どちらか と言うと そうでない	全く そうでない
	32 件 100.0%	満足 できたか?	19	13	0	0	0



主な意見	■ 現場の声が多数聞けて大変勉強になった。
	■ 自分の仕事を見つめ直す良い機会になった。
	■ 人と人とのつながりを手助けする、それが社会によりよい影響をもたらすことを信じて役割を務めていきたいと思う。
	■ ボランティアの受入れは施設全体の活性化に繋がるので交流を深めたい。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 今回の講義は講師の実体験を多く取り入れた内容となり、現場で活動する受講生にとって身近に感じる事ができる研修となった。
	■ グループワークでは、「ジョハリの窓」という手法を使い、コミュニケーションの重要性を学ぶことによって、今後のコーディネーション活動につながっていくと思われる。

■ 研修風景

ボランティアコーディネーターとは		現場の声を届ける石井先生	
「ジョハリの窓」体験中		修了証書授与	

北九州市で「災害ボランティア講座」実施要領 ～九州北部豪雨復興に向けて～

- 平成29年7月九州北部豪雨の被災地では、災害ボランティアセンターが設置され、土砂・流木の撤去や家屋の清掃など復旧に向けて動き出しました。
- 猛暑の中、多くの県民の方々が現地に出向いてボランティア活動をされています。
- 県では、北九州市社会福祉協議会と連携し、「被災地での支援活動報告」「災害ボランティアに行く前に知っておきたいこと」などについての講座を開催します。
- 被災地は、より一層、ボランティア活動による支援を求めています。是非、講座に参加いただき、十分に準備のうえ、現地に向かわれるようお願いいたします。

北九州市開催

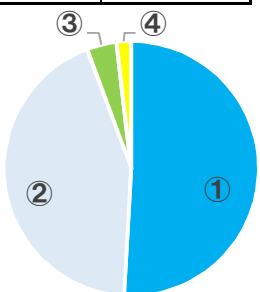
- 1 日時 平成29年8月6日（日曜日）14時～15時30分
- 2 場所 ウェルとばた2階多目的ホール（戸畑区汐井町1-6）
- 3 内容
 - ①被災地での支援活動報告
講師：特定非営利活動法人全国災害ボランティア支援団体ネットワーク（JVOAD）事業担当 成田 亮（なりた・りょう）氏
 - ②災害ボランティアに行く前に知っておきたいこと
講師：NPO法人ANGEL WINGS 理事長
一般社団法人九州防災パートナーズ 代表理事
藤澤 健児（ふじさわ・けんじ）氏
 - ③ボランティア活動保険について
説明：社会福祉法人 北九州市社会福祉協議会
（当日保険加入を受け付けます）
- 4 参加費 無料
- 5 定員 100名（要申込（当日可））
- 6 主催 福岡県・社会福祉法人 北九州市社会福祉協議会
- 7 後援 社会福祉法人 福岡県社会福祉協議会・北九州市
- 8 申込先 電話または参加申込書（当センターホームページ掲載）に必要事項記入の上、Faxにて、下記宛てお申込みください。
社会福祉法人 北九州市社会福祉協議会
ボランティア・市民活動センター 研修課（沖廣・松田）
TEL：093-881-6321 FAX：093-881-6306
- 9 その他 駐車場は 有料です。公共交通機関をご利用になるか、お車でお越しの際は、周辺の駐車場をご利用ください。

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研日数 修等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	49人	66人	66人	—才		1日	2時間
	19・30	134.7%					

■ アンケート結果

全体評価	回答	研修全体について	①	②	③	④	⑤
	(回収率)		全くその通り	どちらかと言うとその通り	どちらとも言えない	どちらかと言うとそうでない	全くそうでない
	54件 81.8%	満足できたか?	27	23	2	1	0



主な意見
<ul style="list-style-type: none"> ■ 個人の方が参加する支援がよくできているように感じた。 ■ 助け合いのために必要なこと、知っておかなくてはならないことをこの講座を通じてしっかりと学べた。 ■ 今後、災害ボランティア活動に参加してみたいと思った。

■ 事業点検

点検・講評	
<ul style="list-style-type: none"> ■ 臨時開催で、講座開催までの期日が短い時は、参加者確保の工夫が必要。 ■ 共同開催の場合、役割分担をしっかりと決めておく。 	
(今後の取り組み)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 緊急時の連絡手段を確認しておく。

■ 研修風景

被災地での支援活動報告		ボランティア活動保険について	
災害ボランティアに行く前に知っておきたいこと		ボランティア活動保険当日受付	



イメージキャラクター

「プチボザウルス」

このキャラクターは、子どもたちの小地域福祉活動から生まれた社会福祉協議会マスコットです。プチボザウルスのプチボとは、プチ「小さな、ほんの少しの」ボランティア（福祉活動などに参加する人）の意味を持ち、「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」をすすめる社会福祉協議会の活動をイメージしています。

社会福祉法人 北九州市社会福祉協議会
ボランティア・市民活動センター研修課
(北九州市社会福祉ボランティア大学校)

〒804-0067 北九州市戸畑区汐井町1番6号 ウェルとばた3階

TEL 093(881)6321

FAX 093(881)6306

ホームページ <http://www.kitaq-shakyo.or.jp/vol>